

# **矢吹町学校教育施設長寿命化計画**

**平成30年3月**

**矢吹町教育委員会**



# 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

## － 目 次 －

<b>1. 学校教育施設長寿命化計画の策定にあたって</b>	<b>- 1 -</b>
1-1. 計画の背景・目的	- 1 -
1-2. 計画の位置付け	- 2 -
1-3. 計画期間	- 3 -
1-4. 用語の定義と解説	- 4 -
1-5. 対象施設	- 6 -
<b>2. 学校教育施設の目指すべき姿</b>	<b>- 8 -</b>
2-1. 学校施設整備において実現すべき取組	- 8 -
<b>3. 学校教育施設の実態</b>	<b>- 9 -</b>
3-1. 学校施設の運用・活用状況	- 9 -
1) 各学校の教育方針	- 9 -
2) 学校施設の現況	- 10 -
3) 児童生徒数の変化と保有教室数	- 12 -
4) 学校教育施設の施設整備費等の推移	- 19 -
3-2. 現地調査状況	- 20 -
1) 調査及び評価方法	- 20 -
2) 学校教育施設の老朽化状況の実態	- 21 -
3) 各教育施設の老朽化状況の評価	- 22 -
① 矢吹小学校の老朽化状況	- 22 -
② 善郷小学校の老朽化状況	- 30 -
③ 中畠小学校の老朽化状況	- 39 -
④ 三神小学校の老朽化状況	- 48 -
⑤ 矢吹中学校の老朽化状況	- 55 -
3-3. 長寿命化の必要性	- 66 -
<b>4. 学校教育施設整備の基本方針等の検討</b>	<b>- 68 -</b>
4-1. 上位計画における基本方針	- 68 -
1) 公共施設等の管理に関する基本方針	- 68 -
2) 施設類型別の基本方針【学校教育施設】	- 69 -
4-2. 学校教育施設長寿命化計画の基本方針	- 70 -

<b>5. 基本方針等を踏まえた施設整備の水準等</b>	<b>- 71 -</b>
5-1. 目標耐用年数	- 71 -
5-2. 学校の適正配置	- 72 -
5-3. 修繕・改修周期の設定	- 73 -
5-4. 修繕・改修レベルの設定	- 74 -
5-5. 維持管理レベルの設定	- 76 -
 <b>6. 長寿命化の実施計画</b>	 <b>- 77 -</b>
6-1. 改修優先度の設定	- 77 -
6-2. 長寿命化計画の今後の課題	- 78 -
1) 耐力度調査について	- 78 -
2) 財源の確保について	- 78 -
3) 改修時期について	- 78 -
6-3. 情報の管理	- 78 -

## 1. 学校教育施設長寿命化計画の策定にあたって

### 1-1. 計画の背景・目的

矢吹町の小・中学校 5 施設は、校舎の老朽化及び耐震性の課題から、矢吹中学校を改築（平成 25 年 9 月竣工）し、老朽化及び機能的な改善を図るため、矢吹小学校の大規模改修を実施しているが、その他の施設は、建築後 30 年から 40 年を経過し、建物や設備等の老朽化に伴い改修箇所が増加している。

また、厳しい財政状況が続く事が予想される中で、老朽化が進む小学校を順次建替えていくことは難しい状況である。その為、既存施設の維持・長寿命化によって将来の建替えのペースを長期化し、長期的かつ計画的な改修を行うことでコストの縮減・財政負担の平準化を図る必要がある。

このような中、各小学校の現況等を調査し老朽化の実態を把握するとともに、状態に応じた改修や計画的な維持管理を行うことで、子供たちが安心安全に学べ、「矢吹町教育大綱」で定める基本理念に沿った教育環境を確保する事を目的とする。

### 矢吹町教育大綱

#### ○基本理念

『緑豊かな大地に主体的に生きる心豊かな人間の育成』

#### ○基本目標

- ・ふるさとの誇りと愛着心の育成
- ・社会全体で取り組む子どもたちの育成
- ・協働のまちづくりによる子育て支援
- ・学校教育の質の向上、環境の充実
- ・学びを通じた人づくりの推進
- ・スポーツ活動の推進と競技力の向上
- ・文化、芸術活動、生涯学習分野の活性化

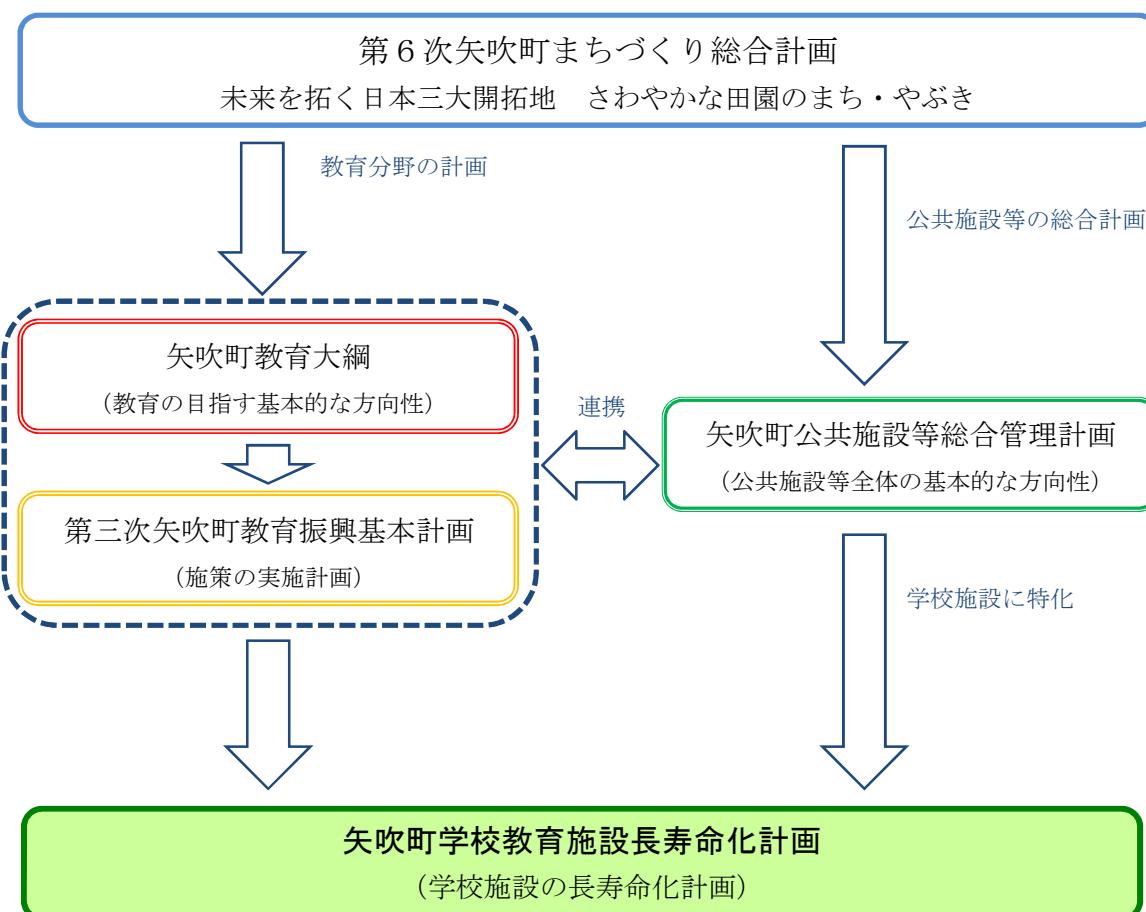
「矢吹町教育大綱」より

## 1 – 2. 計画の位置付け

矢吹町では、目指すべき方向や各分野における指針について、町の最上位計画である「第6次矢吹町まちづくり総合計画（基本構想）」を掲げている。

また、本町の公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針を示した「矢吹町公共施設等総合管理計画」、教育分野に特化した計画として「矢吹町教育大綱」「第三次矢吹町教育振興基本計画」も整備されている。

矢吹町学校教育施設長寿命化計画は、これらの下位計画として位置付ける。



## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

### 1－3. 計画期間

計画期間は、平成 30 年から平成 39 年までの 10 年間とする。ただし、施設の老朽化状況、財政状況等を踏まえ、必要に応じて適宜見直すものとする。

矢吹町学校教育施設 長寿命化計画	2017	2018										2027
	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	
策定		必要に応じ適宜見直し										← →

## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

### 1－4．用語の定義と解説

本計画における用語の定義と解説は、「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引（平成27年4月文部科学省）」に基づき、次のとおりとする。

#### 【基本的な用語】

長寿命化	建物を将来にわたって長く使い続けるため、耐用年数を延ばすこと。
保全	建物や設備が完成してから取り壊すまでの間、その性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けること。保全のための手段として、点検・診断、改修等がある。
予防保全	損傷が軽微である早期段階から、機能・性能の保持・回復を図るために修繕等を行う、予防的な保全のこと。なお、あらかじめ周期を決めて計画的に修繕等を行う保全のことを「計画保全」という。
事後保全	老朽化による不具合が生じた後に修繕等を行う、事後的な保全のこと。
維持管理	建物や設備の性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けるため、建物や設備の点検・診断を行い、必要に応じて建物の改修や設備の更新を行うこと。なお、日常的に行われる点検や修繕等のことを本手引では「日常的な維持管理」という。
更新	既存の建物や設備を新しく改めること。建物の場合は、「改築」と同義ととらえてよい。
改築	老朽化により構造上危険な状態にあったり、教育上、著しく不適当な状態にあったりする既存の建物を「建て替える」こと。
改修	経年劣化した建物の部分又は全体の原状回復を図る工事や、建物の機能・性能を求められる水準まで引き上げる工事を行うこと。
修繕	経年劣化した建物の部分を、既存のものと概ね同じ位置に概ね同じ材料、形状、寸法のものを用いて原状回復を図ること。
長寿命化改修	長寿命化を行うために、物理的な不具合を直し耐久性を高めることに加え、機能や性能を求められる水準まで引き上げる改修を行うこと。
メンテナンスサイクル	定期的な点検・診断により施設の状態を把握し、その結果に基づき、必要な対策を適切な時期に、着実かつ効率的・効果的に実施するとともに、これらの取組を通じて得られた施設の状態や対策履歴等の情報を記録し、次期点検・診断等に活用する一連の取組を継続的に実施すること。

#### 【国庫補助関係】

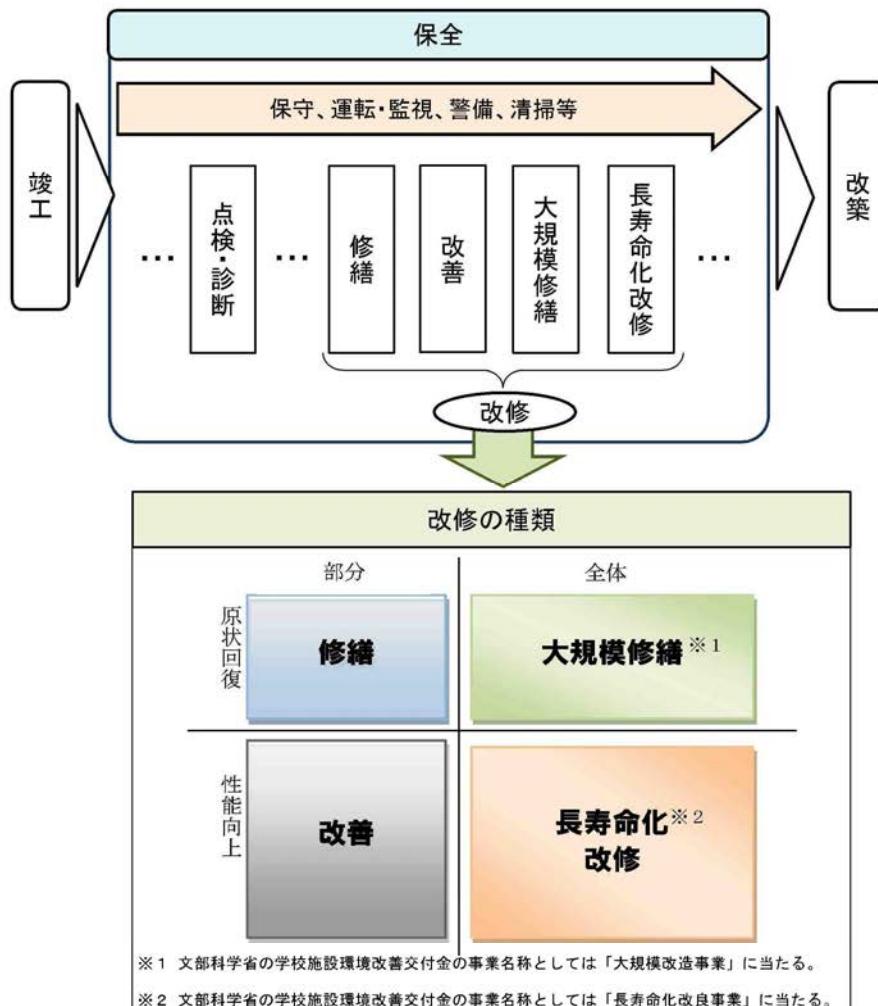
大規模改造事業	文部科学省の学校施設環境改善交付金における対象事業の名称の一つであり、大規模な改修を行う事業を指す。
長寿命化改良事業	文部科学省の学校施設環境改善交付金における対象事業の名称の一つであり、長寿命化を目的とした改修を行う事業を指す。
改築事業	文部科学省の学校施設環境改善交付金における対象事業の名称の一つであり、改築を行う事業を指す。

「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引(平成27年4月文部科学省)」より抜粋

## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

### 【計画関係】

インフラ長寿命化基本計画	国民の安全・安心を確保し、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図るとともに、維持管理・更新に係る産業の競争力を確保するための方向性を示すものとして、国や地方公共団体、その他民間企業等が管理するあらゆるインフラを対象に策定された基本計画。（平成25年11月インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）
インフラ長寿命化計画 (行動計画)	インフラ長寿命化基本計画において、各インフラを管理・所管する者が、インフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中長期的な取組の方向性を明らかにするものとして策定することとされた計画。地方公共団体が策定する行動計画は「公共施設等総合管理計画」に該当するものである。
個別施設毎の長寿命化計画 (個別施設計画)	インフラ長寿命化基本計画において、各インフラの管理者が、個別施設毎の具体的な対応方針を定めるものとして策定することとされた計画。本手引において、「個別施設」とは、各地方公共団体の「域内の学校施設」を指し、「学校施設の長寿命化計画」とはこの個別施設計画に当たるものである。



図表2 用語のイメージ

「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引(平成27年4月文部科学省)」より抜粋

## 1－5. 対象施設

対象施設は、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月文部科学省）」の基準により、原則として次の建物を対象とする。なお、小規模な建物（倉庫、部室、便所等）、プール、グラウンド及び共用設備等は対象としない。

- ・校舎（渡り廊下、昇降口等の機能上不可分な小規模な建物を含む）
- ・屋内運動場（武道場を含む）
- ・給食室

本長寿命化計画における対象教育施設は以下のとおりとする。

### ■長寿命化計画対象施設一覧

#### 【対象施設】

学 校		
小学校	4 校	
中学校	1 校	

#### 【小学校】

(1) 矢吹小学校	所在地: 矢吹町中町100	
	棟番号	建物区分
① 001	校舎	西校舎
② 002	校舎	東校舎
③ 008	給食室	給食室
④ 009,010	屋内運動場	屋内運動場
(2) 善郷小学校	所在地: 矢吹町小松384-2	
	棟番号	建物区分
① 001	校舎	西校舎
② 002	校舎	東校舎
③ 003	屋内運動場	屋内運動場
④ 004	給食室	給食室
(3) 中畠小学校	所在地: 矢吹町中畠329	
	棟番号	建物区分
① 001	校舎	北校舎
② 009	給食室	給食室
③ 010	校舎	南校舎
④ 013	屋内運動場	屋内運動場
(4) 三神小学校	所在地: 矢吹町神田西130-2	
	棟番号	建物区分
① 004	校舎	南校舎
② 005	校舎	北校舎
③ 011	屋内運動場	屋内運動場

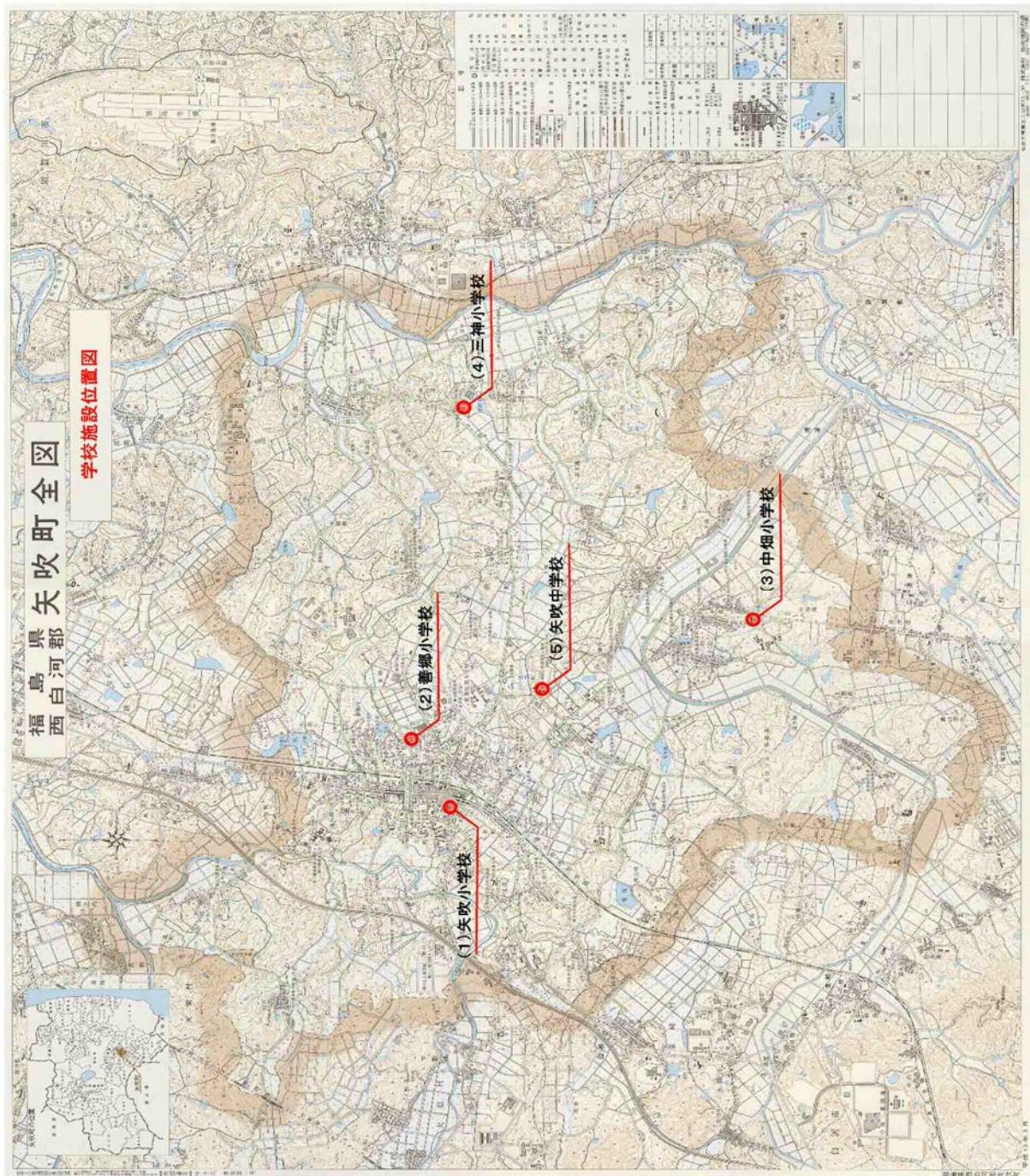
#### 【中学校】

(5) 矢吹中学校	所在地: 矢吹町文京町118	
	棟番号	建物区分
① 010	給食室	給食室、食堂
② 011,012	屋内運動場	屋内運動場
③ 013,015,016	校舎	校舎
④ 017,019	校舎	屋内プール
⑤ 018	校舎	武道場

※棟番号は学校施設台帳による。

## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

### ■長寿命化計画の対象施設 位置図



## 2. 学校教育施設の目指すべき姿

### 2-1. 学校施設整備において実現すべき取組

学校施設整備においては、「学校施設整備基本構想のあり方について（平成25年3月学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議）」に基づき、安全性、快適性、学習活動への適応性、環境への適応性、地域の拠点化等に配慮して整備するものとする。

#### ■「学校施設整備基本構想のあり方について」

(学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議、平成25年3月より抜粋)

1. 安全性	3. 学習活動への適応性（続き）
<p>○災害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震に強い学校施設</li> <li>・津波・洪水に強い学校施設</li> <li>・防災機能を備えた学校施設</li> </ul> <p>○防犯・事故対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で安心な学校施設</li> </ul>	<p>○理数教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・充実した観察・実験を行うための環境</li> </ul> <p>○運動環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・充実した運動ができる環境</li> </ul> <p>○伝統や文化に関する教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統や文化に関する教育を行うための環境</li> </ul> <p>○外国語教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国语活動等におけるジェスチャーゲームなどの体を動かす活動や、ペアやグループでの活動など、児童生徒が積極的にコミュニケーションを図ることができるような空間</li> </ul>
<h3>2. 快適性</h3> <p>○快適な学習環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習能率の向上に資する快適な学習環境</li> <li>・児童生徒の学校への愛着や思い出につながり、また、地域の人々が誇りや愛着をもつことができる学校</li> <li>・バリアフリーに配慮した環境</li> <li>・子どもたちや保護者等が教員を訪れやすい空間</li> </ul> <p>○教職員に配慮した環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員に配慮した空間</li> <li>・教職員等の事務負担軽減などのための校務の情報化に必要なICT環境</li> </ul>	<p>○学校図書館の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境</li> <li>・調べ学習や習熟度別学習、チームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間</li> <li>・各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるためのICT環境</li> <li>・地域に開かれた学校とするための環境</li> <li>・地域の生涯学習の拠点となる学校施設</li> </ul> <p>○キャリア教育・進路指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・充実したキャリア教育・進路指導を行うための環境</li> </ul> <p>○食育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育のための空間</li> </ul> <p>○特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーに配慮した環境</li> <li>・自閉症、情緒障害又はA D H D 等のある児童生徒に配慮した学校施設</li> </ul> <p>○環境教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境問題への関心を高めるためのエコスクール</li> </ul>
<p>3. 学習活動への適応性</p> <p>○主体性を養う空間の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境</li> <li>・子どもたちの教科等に対する興味関心を引き、自ら学ぶ主体的な行動を促すための空間</li> <li>・子どもたちや保護者等が教員を訪れやすい空間</li> <li>・社会性を身に付けるための空間</li> </ul> <p>○効果的・効率的な施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別指導や少人数指導などの、きめ細かい個に応じた指導を行うための空間</li> <li>・調べ学習や習熟度別学習、チームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間</li> <li>・各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるためのICT環境</li> <li>・各教科等の授業を充実させるための環境</li> </ul> <p>○言語活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科等における発表・討論などの教育活動を行うための空間</li> <li>・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境</li> <li>・各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるためのICT環境</li> </ul>	<p>4. 環境への適応性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境を考慮した学校施設（エコスクール）</li> </ul> <p>5. 地域の拠点化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で安心な学校施設</li> <li>・バリアフリーに配慮した環境</li> <li>・地域に開かれた学校とするための環境</li> <li>・地域の生涯学習の拠点となる学校施設</li> </ul>

### 3. 学校教育施設の実態

#### 3-1. 学校施設の運用・活用状況

##### 1) 各学校の教育方針

矢吹町では、平成28年4月に「矢吹町教育大綱」及び「第三次矢吹町教育振興基本計画」を策定し、教育分野で目指すべき基本的な方向性とその具現化に向けた施策の実施計画を示している。また、各学校では「矢吹町教育大綱」の基本理念をもとに、それぞれの教育目標や年度毎の重点目標等を掲げている。

##### ■平成29年度 学校教育目標等

学校名	学校教育目標	重点目標又は努力目標
矢吹小学校	心の美しい子ども(情操豊かで、礼儀正しい子ども)【総括目標】 ○ じょうぶな子ども(心身ともに健康で安全な生活をする子ども)【健康】 ○ がんばる子ども(自主性に富み、最後までやりとげる根気強い子ども)【意志】 ○ 思いやのある子ども (規律を守り、共同、友愛を大切にし、奉仕の精神に富んだ子ども)【協調】 ○ よく考え工夫する子ども(基礎的な学力を身に付け、創造豊かな子ども)【知性】	① 健康・安全教育の充実を図り、体力の向上・健康の維持増進に努める。 ② ねばり強い意志の育成に努める。 ③ 心の教育の充実を図り、自己肯定感の向上に努める。 ④ 望ましい学習習慣を身に付けさせるとともに、学習内容の定着を図る。
善郷小学校	夢に向かって進もう仲間とともに ○ 思いやのある子ども(徳) ○ よく考え工夫する子ども(知) ○ 健康な子ども(体)	「認めあう善郷っ子」 ○ 進んであいさつをし、正しい言葉遣いで話す子 ○ 相手の気持ちを考えて行動する子 ○ お互いに助け合って、仲良く生活する子 ① 道徳教育の充実、② 特別活動・総合的な学習時間の充実、③ 教育相談の充実 「学びあう善郷っ子」 ○ 友だちや教師の話をよく聞き、自分の考えを進んで話す子 ○ 自分の課題に向かってよく考え、進んで学習する子 ○ 本に親しみ、進んで読書する子 ① 授業の充実、② 授業周辺部の充実、③ 家庭学習の習慣化 「鍛えあう善郷っ子」 ○ 自ら進んで運動する子 ○ 自分に合ったためあてもを持ち、最後までがんばる子 ○ 身の回りの安全や健康に気をつけて生活する子 ① 健康・安全教育の充実、② 体育的活動の充実、③ 食育の推進 「これらを支えるもの」 ① 読書の推進、② 特設クラブ活動の充実
中畑小学校	自ら考え行動し、夢に向かって本気で学び、鍛え、挑戦する子ども ○ すすんで学ぶ子ども ○ 心ゆたかな子ども ○ じょうぶな子ども	生きる力を育む ① 学び合いの場を大切にし、思考力、判断力、表現力を育成する。(確かな学力) ② 自己肯定感、自己有用感を育成する。(豊かな人間性) ③ 体育の授業、授業以外の活動で体力の向上を図る。(健やかな体)
三神小学校	豊かな人間性を備え心も体も健康で共に伸びようと努力する子どもの育成 ○ 思いやのある子 ○ 考える子 ○ たくましい子	豊かな感性や社会性を培い、思いやりの心情を育てる。 ○ 豊かな人間性の育成を目指し、教育環境を最大限生かすように努める。 ○ 確かな学力の定着を目指し、学習の仕方を身につけ向上心に支えられた主体的な学習態度を育てる授業の充実に努める。 ○ 教科の特性を生かした指導を通しながら豊かな表現力を高める。 ○ 身近な素材を生かし、体感できる場を設定することにより、生き生きと活動する児童を育てる。 ○ 児童の個人差に配慮し、個性を伸ばす指導に努めると共に、児童同士が切磋琢磨しながら自他と共に伸びようという心の育成に努める。 ○ 無事故の生活実現と体力向上に努める。
矢吹中学校	「志を高く持ち、学び・磨き・鍛え続ける生徒」 ~学校経営のキーワード~ 「可能性・挑戦、そして感謝」	① 学ぶ喜び、楽しさを味あわせ、確かな学力の向上を図る。<知力> ② 規範意識を高めるとともに、自他の命を大切にさせ、他者への思いやりの心や感謝の心、態度を育てる。<心力> ③ 心身の健康の保持増進と安全な生活態度を身につけさせるとともに、生徒自ら進んで強い身体を鍛える態度を育てる。<健康・体力> ④ 教育環境の整備充実に努めるとともに、各種団体との連携を一層図り、日々の教育活動を充実させる。<教育環境・連携> ⑤ 教職員の不祥事の未然防止に最善を尽くし、安全・安心で信頼される学校を目指す。<信頼>

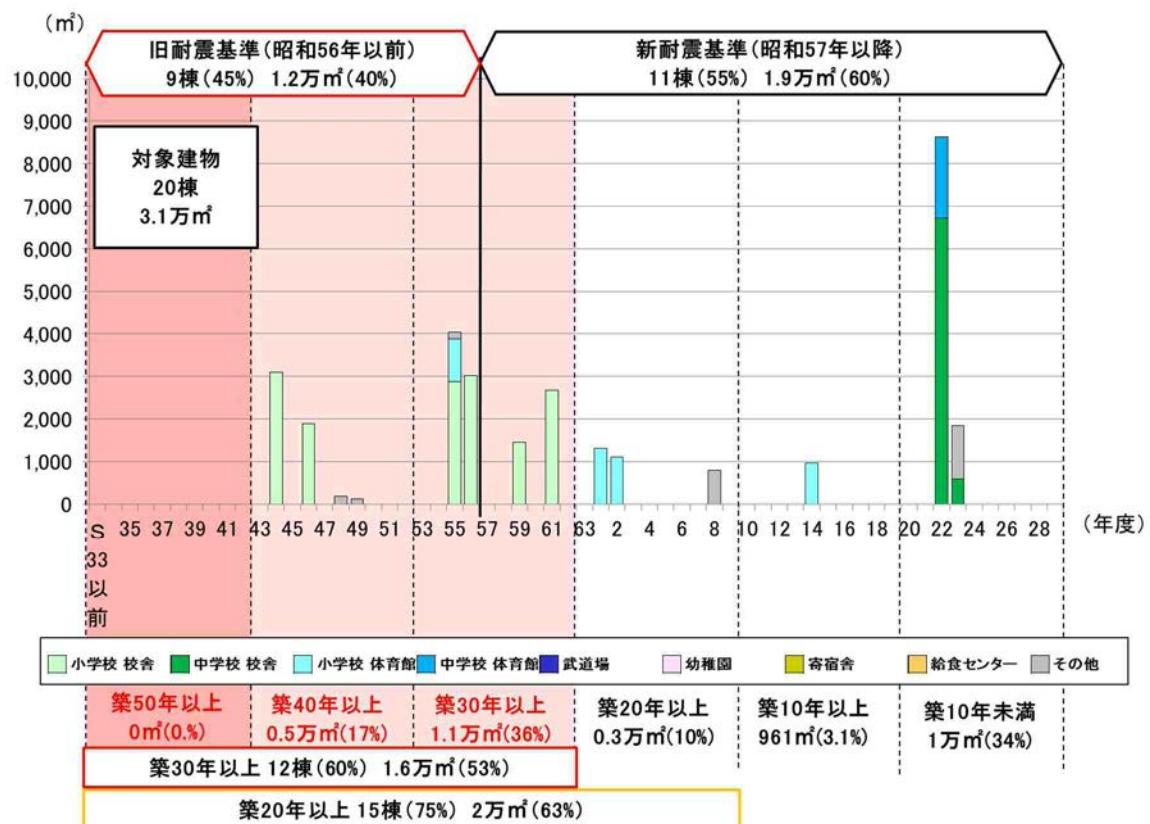
## 2) 学校施設の現況

本計画の対象建物は、5校20棟3.1万m<sup>2</sup>で、うち旧耐震基準（昭和56年以前）の建物が9棟1.2万m<sup>2</sup>で40%、新耐震基準（昭和57年以降）が11棟1.9万m<sup>2</sup>で60%となっている。また、平成29年度時点において、築30年以上の建物は12棟1.6万m<sup>2</sup>で全体面積の53%を占めている。

矢吹町の新耐震基準（昭和56年）以前に建てられた学校施設の校舎・屋内運動場については耐震診断を行い、基準値以下の施設については耐震補強工事を実施し、全ての校舎・屋内運動場が耐震基準を満たしている。

給食室については、町内全ての幼稚園から中学校まで、給食センターから配給する協議を進めており、給食センター整備に合わせ、搬入、搬出のための改修工事及び耐震改修について検討する。

### 築年別整備状況



## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

### ■各学校の現況一覧

#### (1) 【矢吹小学校】

	棟番号	施設名称	建設年度	経過年数 (H29年現在)	構 造	階 数	延床面積	耐震診断	大規模改造
①	001	西校舎	昭和44年	48年	RC造	3	3,098	平成9年	平成26年
②	002	東校舎	昭和56年	36年	RC造	3	1,485	○(新耐震)	平成27年
③	008	給食室	昭和48年	44年	鉄骨造	1	184	未実施	—
④	009,010	屋内運動場	平成1年	28年	鉄骨造	1	1,306	○(新耐震)	平成27年

#### (2) 【善郷小学校】

	棟番号	施設名称	建設年度	経過年数 (H29年現在)	構 造	階 数	延床面積	耐震診断	大規模改造
①	001	西校舎	昭和55年	37年	RC造	3	2,885	○(新耐震)	—
②	002	東校舎	昭和56年	36年	RC造	3	1,533	○(新耐震)	—
③	003	屋内運動場	昭和55年	37年	鉄骨造	1	989	平成20年	平成21年
④	004	給食室	昭和55年	37年	鉄骨造	1	158	未実施	—

#### (3) 【中畑小学校】

	棟番号	施設名称	建設年度	経過年数 (H29年現在)	構 造	階 数	延床面積	耐震診断	大規模改造
①	001	北校舎	昭和46年	46年	RC造	3	1,897	平成20年	平成5年
②	009	給食室	昭和49年	43年	鉄骨造	1	112	未実施	—
③	010	南校舎	昭和59年	33年	RC造	2	1,450	○(新耐震)	—
④	013	屋内運動場	平成2年	27年	鉄骨造	1	1,114	○(新耐震)	—

#### (4) 【三神小学校】

	棟番号	施設名称	建設年度	経過年数 (H29年現在)	構 造	階 数	延床面積	耐震診断	大規模改造
①	004	南校舎	昭和61年	31年	RC造	1	486	○(新耐震)	—
②	005	北校舎	昭和61年	31年	RC造	2	2,189	○(新耐震)	—
③	011	屋内運動場	平成14年	15年	鉄骨造	1	961	○(新耐震)	—

#### (5) 【矢吹中学校】

	棟番号	施設名称	建設年度	経過年数 (H29年現在)	構 造	階 数	延床面積	耐震診断	大規模改造
①	010	給食室、食堂	平成8年	21年	鉄骨造	3	787	○(新耐震)	—
②	011,012	屋内運動場	平成22年	7年	RC造(一部S造)	2	1,921	○(新耐震)	—
③	013,015,016	校舎	平成22年	7年	RC造	3	6,714	○(新耐震)	—
④	017,019	屋内プール	平成23年	6年	RC造(一部木造)	2	1,259	○(新耐震)	—
⑤	018	武道場	平成23年	6年	木造	1	587	○(新耐震)	—

※棟番号は学校施設台帳による。

## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

### 3) 児童生徒数の変化と保有教室数

平成 29 年度における矢吹町の小学校児童生徒数は、通常学級 901 名、特別支援学級 17 名で、計 918 名。また、小学校学級数は、通常学級 33 学級、特別支援学級 5 学級で、計 38 学級となっている。

中学校の児童生徒数は、通常学級 458 名、特別支援学級 8 名で、計 466 名。また、中学校学級数は、通常学級 13 学級、特別支援学級 1 学級で、計 14 学級となっている。

#### ■平成 29 年度 児童生徒数及び学級数（参考：平成 29 年度公立学校施設台帳）

##### 対象施設一覧（平成 29 年度 児童生徒数及び学級数）

小学校	学校名	児童生徒数(人)		学級数(学級)	
		通常	特別支援	通常	特別支援
1	矢吹小学校	221	4	9	1
2	善郷小学校	420	9	12	2
3	中畠小学校	148	3	6	1
4	三神小学校	112	1	6	1
小学校 計		901	17	33	5
中学校	学校名	児童生徒数(人)		学級数(学級)	
		通常	特別支援	通常	特別支援
1	矢吹中学校	458	8	13	1
中学校 計		458	8	13	1
小・中学校 合計		1359	25	46	6

#### ■平成 29 年度 学校別保有教室数（参考：平成 29 年度公立学校施設台帳）

学校名	普通教室	保有教室数(室)												保有教室の総面積(m <sup>2</sup> )		
		特別教室												保有普通教室	保有特別教室	
		理科室	生活室	音楽室	図画工作室	美術室	技術室	家庭室	外国語室	視聴覚室	コンピューター室	図書室	特別活動室			
1 矢吹小学校	10	1	-	1	1	-	-	2	-	-	1	1	5	1	593	1,140
2 善郷小学校	19	1	-	1	1	-	-	1	-	-	1	1	3	-	1,216	1,046
3 中畠小学校	8	1	-	1	1	-	-	1	-	-	1	2	5	1	397	902
4 三神小学校	7	1	-	1	1	-	-	1	-	1	-	1	1	-	448	705
5 矢吹中学校	18	2	-	2	-	1	1	1	-	-	1	1	5	2	1,517	1,657

### ■学校別児童生徒数の推移と将来推計

矢吹町の児童生徒数は年々減少傾向にあり、住民基本台帳データを基にした今後の児童生徒数見込みでも、全体的な減少が予想される。また、各学校別児童生徒数の将来推計においても、全ての学校で減少傾向にあるが、善郷小学校においては他校と比べ減少数は少ない見込みとなっている。

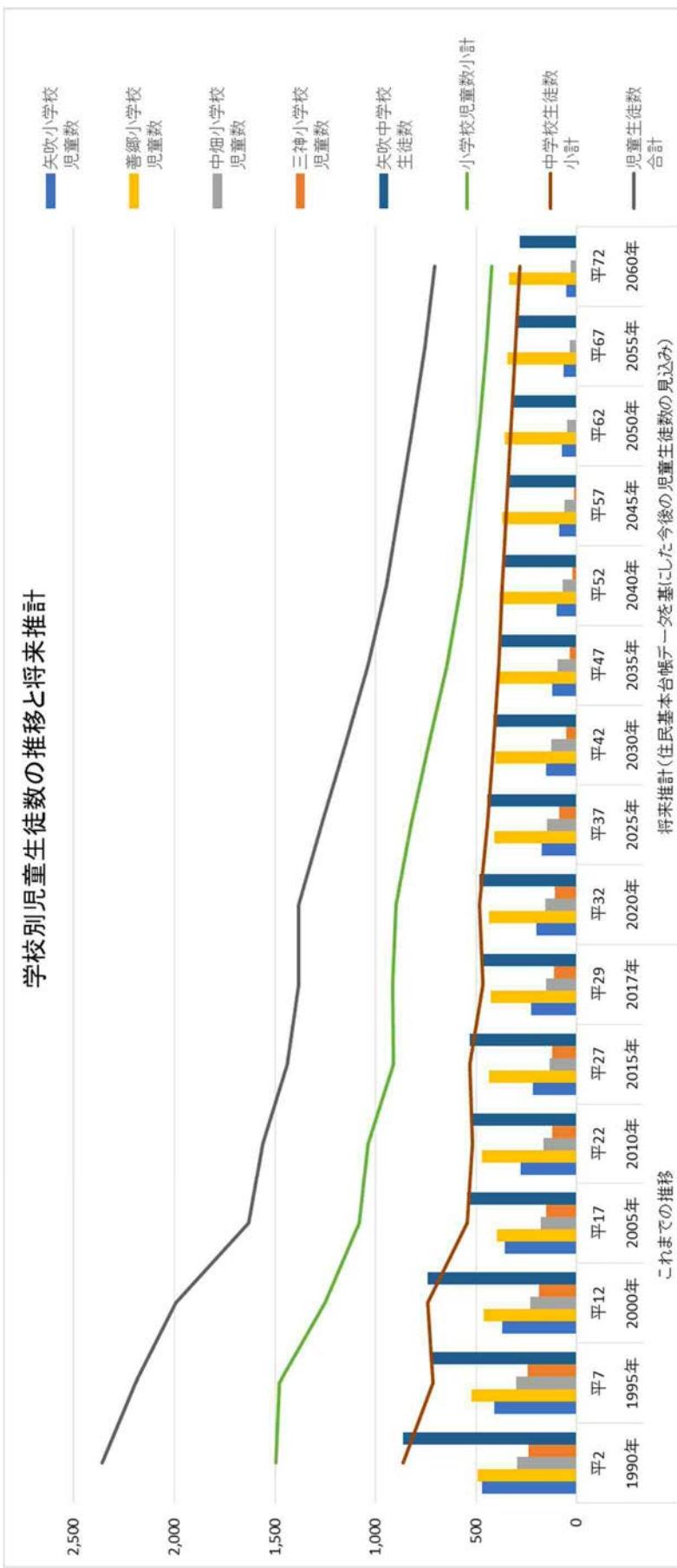
### ■児童生徒数の推移（人）

	これまでの推移						
	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2017年
	平2	平7	平12	平17	平22	平27	平29
矢吹小学校 児童数	471	412	369	356	279	217	225
善郷小学校 児童数	493	524	460	398	473	435	429
中畠小学校 児童数	295	300	233	177	167	137	151
三神小学校 児童数	238	243	189	152	120	121	113
小学校児童数 小計	1,497	1,479	1,251	1,083	1,039	910	918
矢吹中学校 生徒数	865	715	742	547	521	531	466
中学校生徒数 小計	865	715	742	547	521	531	466
児童生徒数 合計	2,362	2,194	1,993	1,630	1,560	1,441	1,384

### ■児童生徒数の将来推計（人）

	将来推計(住民基本台帳データを基にした今後の児童生徒数の見込み)								
	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
	平32	平37	平42	平47	平52	平57	平62	平67	平72
矢吹小学校 児童数	199	176	153	124	101	89	76	64	53
善郷小学校 児童数	437	410	406	394	382	370	358	346	334
中畠小学校 児童数	155	150	128	94	71	59	46	35	29
三神小学校 児童数	107	88	52	35	22	11	6	6	6
小学校児童数 小計	898	824	739	647	576	529	486	451	422
矢吹中学校 生徒数	485	445	413	390	371	350	329	305	283
中学校生徒数 小計	485	445	413	390	371	350	329	305	283
児童生徒数 合計	1,383	1,269	1,152	1,037	947	879	815	756	705

## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画



## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

### ■住民基本台帳データを基にした今後の小学校入学児童数の見込み

	H37年 入学	H42年 入学	H47年 入学	H52年 入学	H57年 入学	H62年 入学	H67年 入学	H72年 入学
矢吹小学校	28	23	19	16	13	11	9	8
善郷小学校	68	66	64	62	60	58	56	54
中畠小学校	24	18	14	11	8	6	5	4
三神小学校	11	7	4	2	1	1	1	1
合計	131	114	101	91	82	76	71	67

## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

### ■学校別学級数の推移と将来推計

現在、小学校では子どもたち一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を行うため、少人数学級や特別支援学級を編成している。そのため、これまでの児童数の減少による余裕教室の増加はないが、今後の更なる児童数の減少により、単学級の学年が徐々に増加し、余裕教室が増加していくと予想される。

なお、学級数の将来推計値は、「学級編成の基準」(P.17)により推計。

### ■学級数の推移（学級）

	これまでの推移						
	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2017年
	平2	平7	平12	平17	平22	平27	平29
矢吹小学校 学級数	12	12	12	13	13	11	10
善郷小学校 学級数	18	17	14	17	19	19	19
中畠小学校 学級数	11	10	7	7	8	8	7
三神小学校 学級数	8	9	6	7	7	7	7
小学校学級数 小計	49	48	39	44	47	45	43
矢吹中学校 学級数	22	19	22	20	18	18	18
中学校学級数 小計	22	19	22	20	18	18	18
学級数 合計	71	67	61	64	65	63	61

### ■学級数の将来推計（学級）

	将来推計(住民基本台帳データを基にした今後の児童生徒数の見込みより推計)								
	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
	平32	平37	平42	平47	平52	平57	平62	平67	平72
矢吹小学校 学級数	8	6	6	6	6	6	6	6	6
善郷小学校 学級数	16	16	14	14	14	13	12	12	12
中畠小学校 学級数	7	6	6	6	6	6	4	4	4
三神小学校 学級数	6	6	6	4	3	3	3	3	3
小学校学級数 小計	37	34	32	30	29	28	25	25	25
矢吹中学校 学級数	15	15	15	12	12	12	12	12	9
中学校学級数 小計	15	15	15	12	12	12	12	12	9
学級数 合計	52	49	47	42	41	40	37	37	34

## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

### ■学級編成の基準 (平成 29 年 7 月 24 日福島県教育委員会)

#### 平成 30 年度 学級編制の基準

平成 29 年 7 月 24 日  
福島県教育委員会

##### 1 学級編制基準策定の方針

「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」に基づき、本県公立小・中・特別支援学校の学級編制基準を設定する。

子どもや地域・学校の状況を踏まえ、学年の特性や児童生徒の発達段階に即した指導方法・体制が整備できるよう、市町村の判断で主体的かつ弾力的な学級編制を行う。

##### 2 学級編制の基準日

平成 30 年 4 月 5 日（木）とする。

基準日の翌日以降、児童生徒数が増減しても、学級の編制替えはしないものとする。

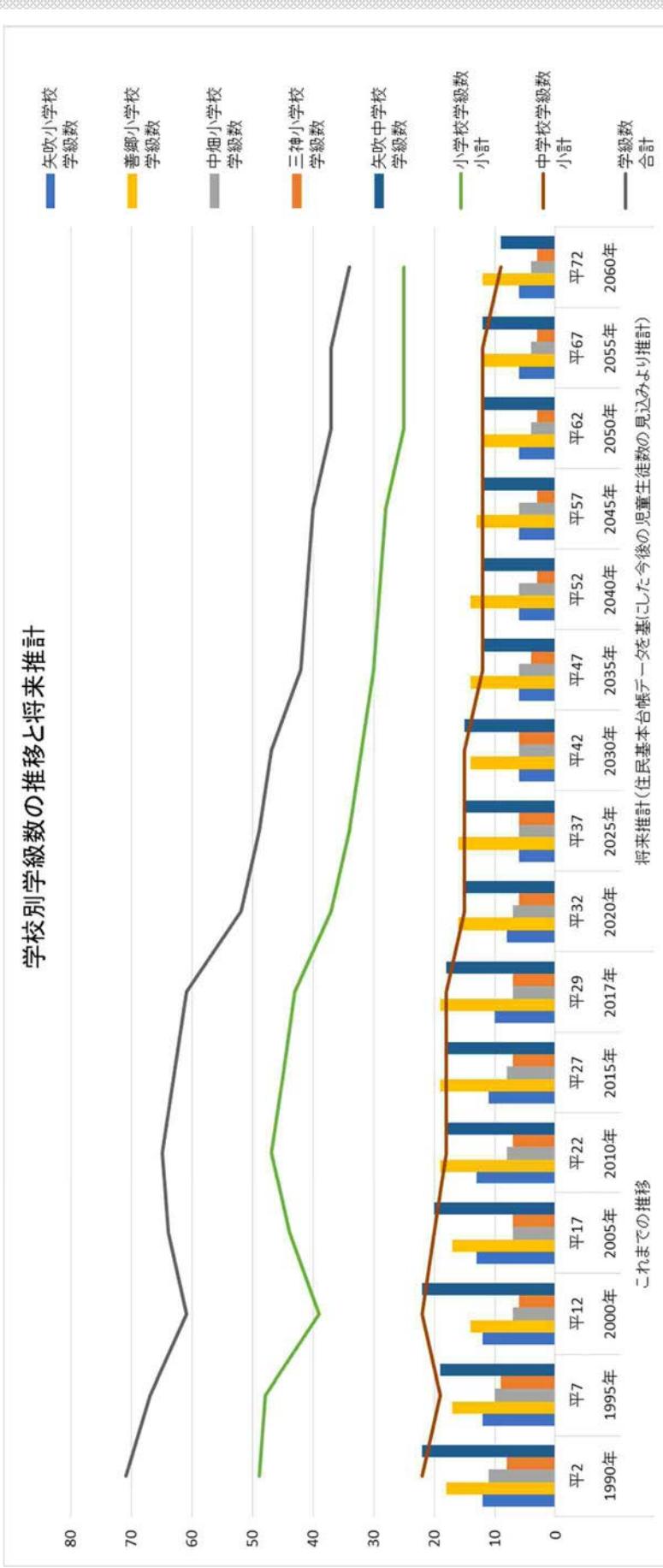
##### 3 学級編制の基準

年度 編制	平成 30 年度		
	小学校	中学校	
単式学級	1～2年 30人 3～6年 30人程度	1年 30人 2～3年 30人程度	
複式学級	1年を含む場合 ~ 8人	~ 8人	
	その他の場合 ~ 16人		
飛び複式	1年を含む場合 いずれの学年も 4人以下	いずれの学年も 4人以下	
	その他の場合 いずれの学年も 8人以下		
特別 支援 学級	基準 8人	8人	
	新設 4人	4人	
	継続 2人	2人	
特別 支援 学校	普 6人	6人	
	重 3人	3人	

##### 4 附則

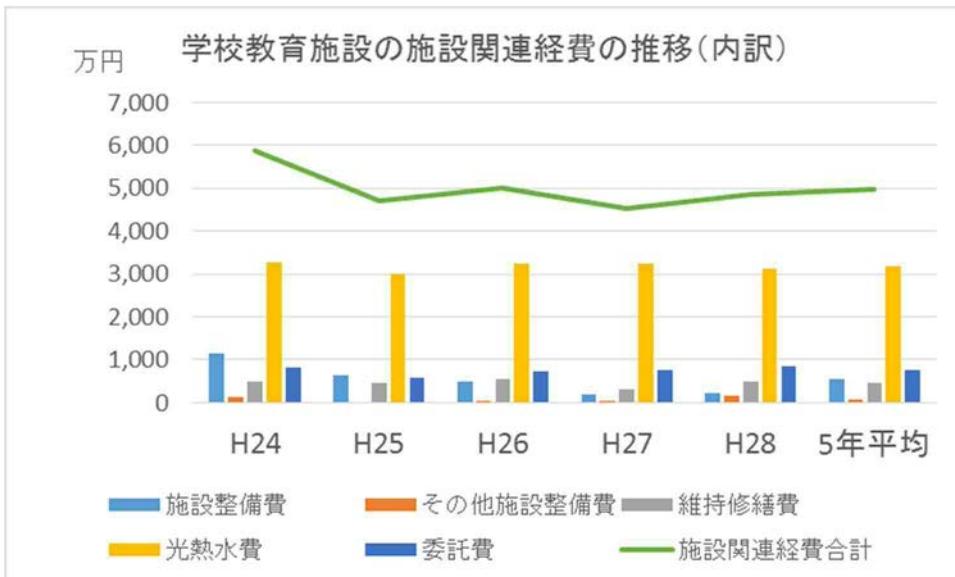
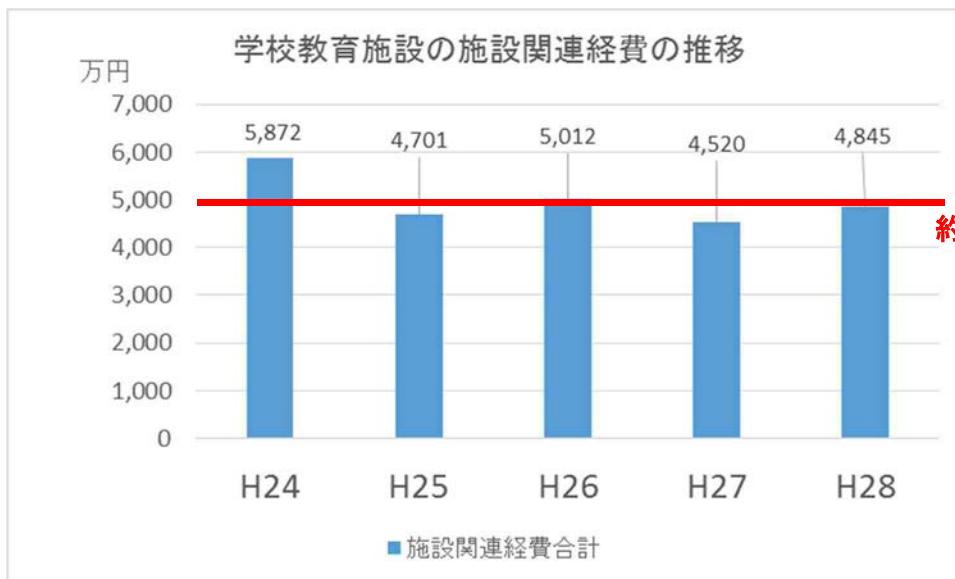
- (1) この基準は、県議会における予算の成立をもって効力を発する。
- (2) 小学校 3～6 年、中学校 2～3 年における「30 人程度」による学級編制は、30～40 人の範囲とする。小学校 1～2 年、中学校 1 年は「30 人学級」であるが、学年の特性、発達段階を踏まえ、30 人を超える学級でも少人数指導を選択することも可能とする。(ただし、小学校 1 年に関しては、35 人を超えないこと)

## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画



#### 4) 学校教育施設の施設整備費等の推移

対象施設の過去5年間（平成24年度から平成28年度まで）における施設関連経費は、約24,950万円で、年平均約4,990万円であった。中でも、光熱水費の占める割合が大きく、年平均約3,180万円となっている。平成24年度の矢吹中学校改築工事費、平成26年から平成28年度の矢吹小学校大規模改修工事費は含んでいない。



### 3-2. 現地調査状況

現地調査を行い、下記の調査及び評価方法により、各教育施設の老朽化状況を評価する。

#### 1) 調査及び評価方法

各教育施設で調査員の目視により、構造躯体以外の屋根・屋上、外壁及び、教室、廊下、トイレ等の現状を確認し、老朽化や破損箇所等を把握する。調査は項目ごとに下記の4つの段階に分類し評価を行うことで、今後の改修の優先度に反映させていく。

また、目視による判断が難しい場合は、内部仕上げ・電気設備・機械設備は、部位の全面的な改修年からの経過年数を基本に下記の4段階で評価する。

#### ■経過年数による評価

##### ■目視による評価 【屋根・屋上、外壁】

評価		基準
劣化	A	概ね良好
	B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
	C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
	D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えていたる)等

##### 【内部仕上げ、電気設備、機械設備】

評価		基準
劣化	A	20年未満
	B	20年以上~40年未満
	C	40年以上
	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

#### ■健全度の算定

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標である。①部位の評価点と②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を100点満点で算定する。

##### ①部位の評価点

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

##### ③健全度

$$\text{総和} \left( \text{部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分} \right) \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

##### 【健全度の計算例】

部位	コスト配分	評価	評価点	配分	計算	健全度
1 屋根・屋上	5.1	C	40	5.1	= 204	
2 外壁	17.2	D	10	17.2	= 172	
3 内部仕上げ	22.4	B	75	22.4	= 1,680	
4 電気設備	8.0	A	100	8.0	= 800	
5 機械設備	7.3	C	40	7.3	= 292	
計	60				3,148	
					÷ 60	
						52

『学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書 平成29年3月文部科学省』より抜粋

## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

## 2) 学校教育施設の老朽化状況の実態

## ■学校教育施設の建物情報一覧

建物情報一覧表																								
建物基本情况																								
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度	耐震安全性		長寿命化判定年度	調査上圧縮強度(N/mm)	機械設備	健全度(100点満点)									
					固定資産合算番号	学校種別				基準	診断													
1 0452	矢吹小学校	校舎(西校舎)	001		小学校	校舎	RC	3	3,098	1969	S44	48	旧	済	済	-	-	改築	A	A	A	100	H26~H28大規模改修	
2 0452	矢吹小学校	給食室	008		小学校	その他	S	1	184	1973	S48	44	旧	-	-	-	-	改築	C	B	C	50		
3 0452	矢吹小学校	校舎(東校舎)	002		小学校	校舎	RC	3	1,485	1981	S56	36	新	-	-	-	-	改築	A	A	A	100	H26~H28大規模改修	
4 0452	矢吹小学校	屋内運動場	009、010		小学校	体育館	S	1	1,306	1989	H1	28	新	-	-	-	-	改築	A	A	A	100	H26~H28大規模改修	
5 0870	善郷小学校	校舎(西校舎)	001		小学校	校舎	RC	3	2,885	1980	S55	37	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	62	
6 0870	善郷小学校	屋内運動場	003		小学校	体育館	S	1	989	1980	S55	37	旧	済	済	-	-	長寿命	C	C	B	B	49	H21耐震補強
7 0870	善郷小学校	給食室	004		小学校	その他	S	1	158	1980	S55	37	旧	-	-	-	-	改築	A	A	B	B	94	
8 0870	善郷小学校	校舎(東校舎)	002		小学校	校舎	RC	3	1,533	1981	S56	36	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	62	
9 0454	中烟小学校	校舎(北校舎)	001		小学校	校舎	RC	3	1,897	1971	S46	46	旧	済	済	-	-	長寿命	D	D	C	C	18	H5大規模改修
10 0454	中烟小学校	給食室	009		小学校	その他	S	1	112	1974	S49	43	旧	-	-	-	-	改築	B	C	A	B	74	
11 0454	中烟小学校	校舎(南校舎)	010		小学校	校舎	RC	2	1,450	1984	S59	33	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	49	
12 0454	中烟小学校	屋内運動場	013		小学校	体育館	S	1	1,114	1990	H2	27	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	77	
13 0453	三神小学校	校舎(南校舎)	004		小学校	校舎	RC	1	486	1986	S61	31	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	72	
14 0453	三神小学校	校舎(北校舎)	005		小学校	校舎	RC	2	2,189	1986	S61	31	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	62	
15 0453	三神小学校	屋内運動場	011		小学校	体育館	S	1	961	2002	H14	15	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	93	
16 3726	矢吹中学校	給食室、食堂	010		中学校	その他	S	3	787	1996	H8	21	新	-	-	-	-	改築	A	B	B	B	77	
17 3726	矢吹中学校	屋内運動場	011012		中学校	体育館	RC	2	1,921	2010	H22	7	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	100	
18 3726	矢吹中学校	校舎	013015016		中学校	校舎	RC	3	6,714	2010	H22	7	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	100	
19 3726	矢吹中学校	屋内プール	017019		中学校	その他	RC	2	1,259	2011	H23	6	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	100	
20 3726	矢吹中学校	武道場	018		中学校	武道場	W	1	587	2011	H23	6	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	100	

## 3) 各教育施設の老朽化状況の評価

## ① 矢吹小学校の老朽化状況

建物情報		劣化状況評価		
施設名	建物名 (棟番号)	屋根・屋上	外壁	内部仕上
矢吹小学校	西校舎 (001)			
		評価A:改修後3年。良好。	評価A:改修後3年。良好である。	評価A:改修後3年。良好。
	東校舎 (002)			
		評価A:改修後2年。良好。	評価A:改修後2年。良好。	評価A:改修後2年。良好。
給食室 (008)				
		評価C:広範囲に塗装の剥がれ、さびがあり経年劣化が見られる。	評価B:外壁は汚れている程度。鉄骨柱にさびがあり、一部土台Colに割れが見られる。	評価C:経過年数44年。
屋内運動場 (009,010)				
		評価A:改修後2年。良好。	評価A:改修後2年。良好。	評価A:改修後2年。良好。

※棟番号は学校施設台帳による。

### ■矢吹小学校の老朽化状況について

構造躯体は、東校舎、屋内運動場は新耐震基準の建物であり健全と判断する。また、西校舎、給食室は旧耐震基準の建物であるが、西校舎は平成26年から大規模改修工事を行い、耐震安全性は確保されている。

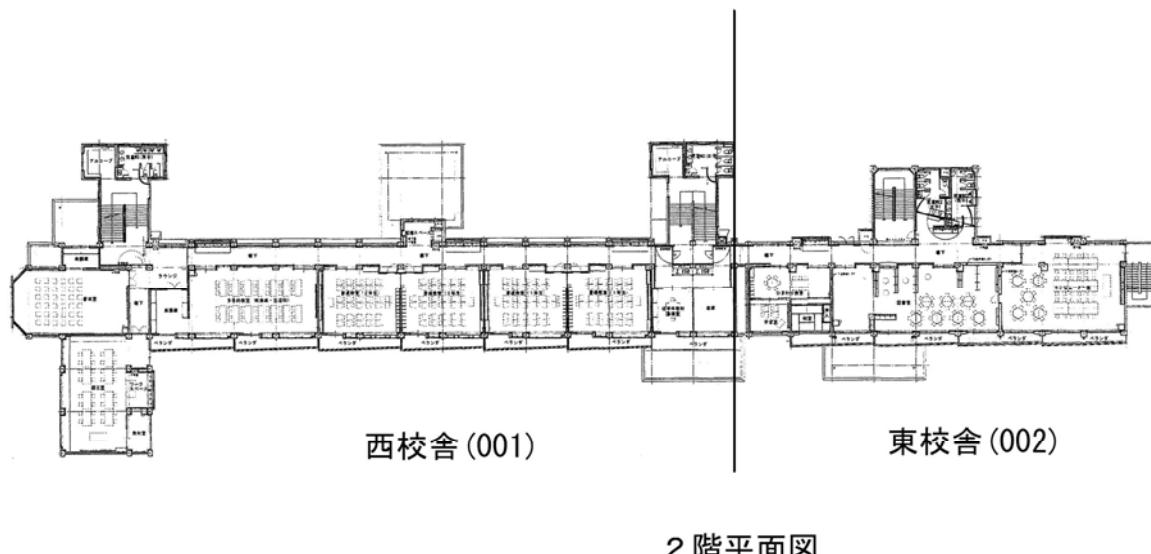
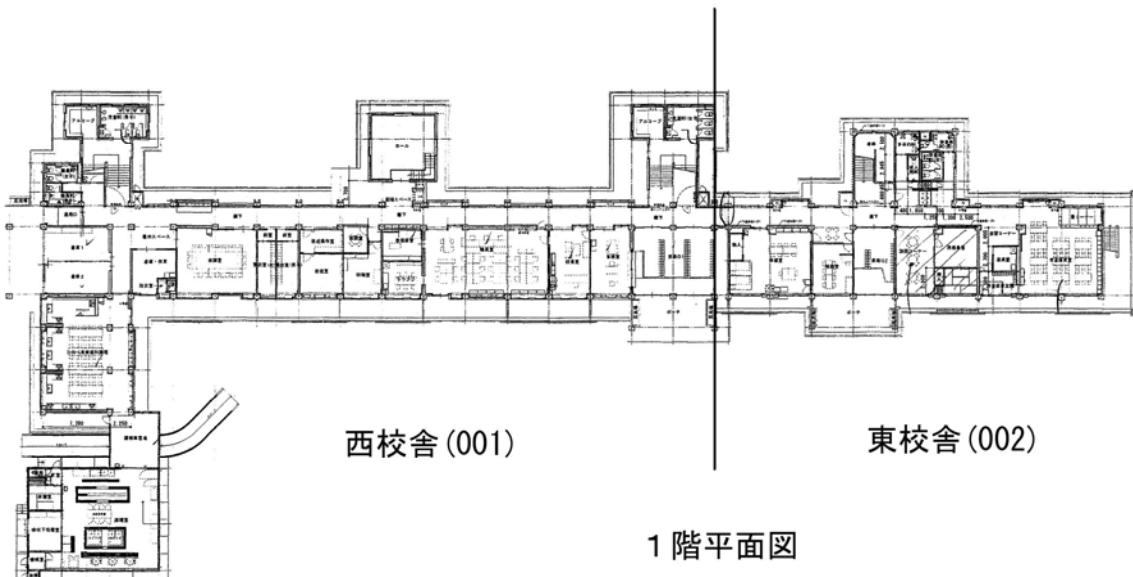
平成26年度から平成28年度にかけて、校舎2棟、屋内運動場の大規模改修工事を実施しており、屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備全ての項目においてA評価となっている。

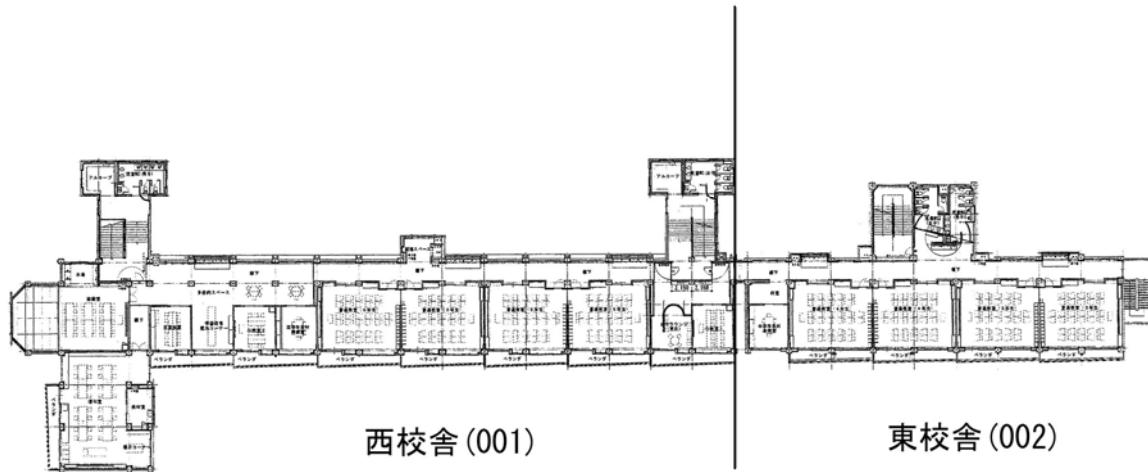
給食室は、築44年を経過しC評価またはB評価となっている。また、給食室については、別途矢吹町給食センターを新設する計画があるため、今後は大規模改修を行わず維持保全としている。

## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

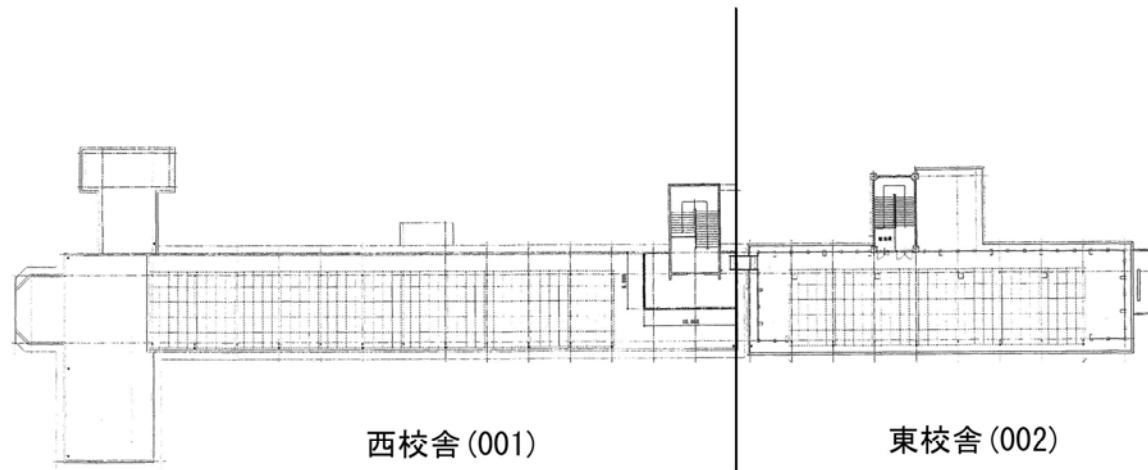
### ■矢吹小学校 校舎 調査図面（各階平面図、立面図）

※老朽化箇所がないため調査図面のみ掲載





3階平面図

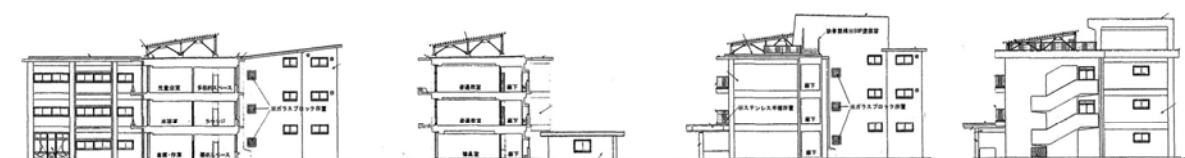


屋上平面図

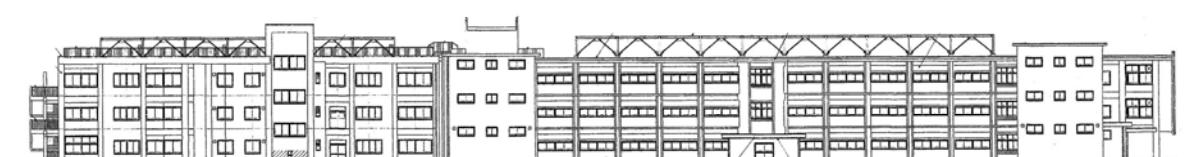
矢吹町学校教育施設長寿命化計画



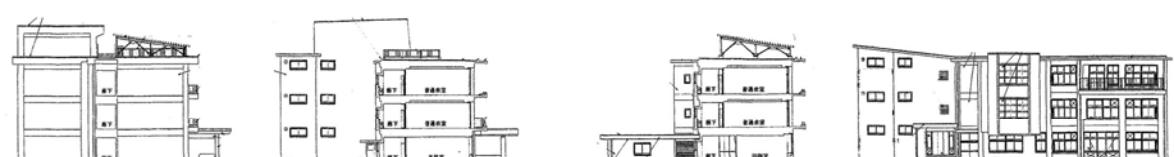
西校舎(001) 東校舎(002)  
南側立面図



西校舎(001) 東側立面図 東校舎(002)



東校舎(002) 西校舎(001)  
北側立面図

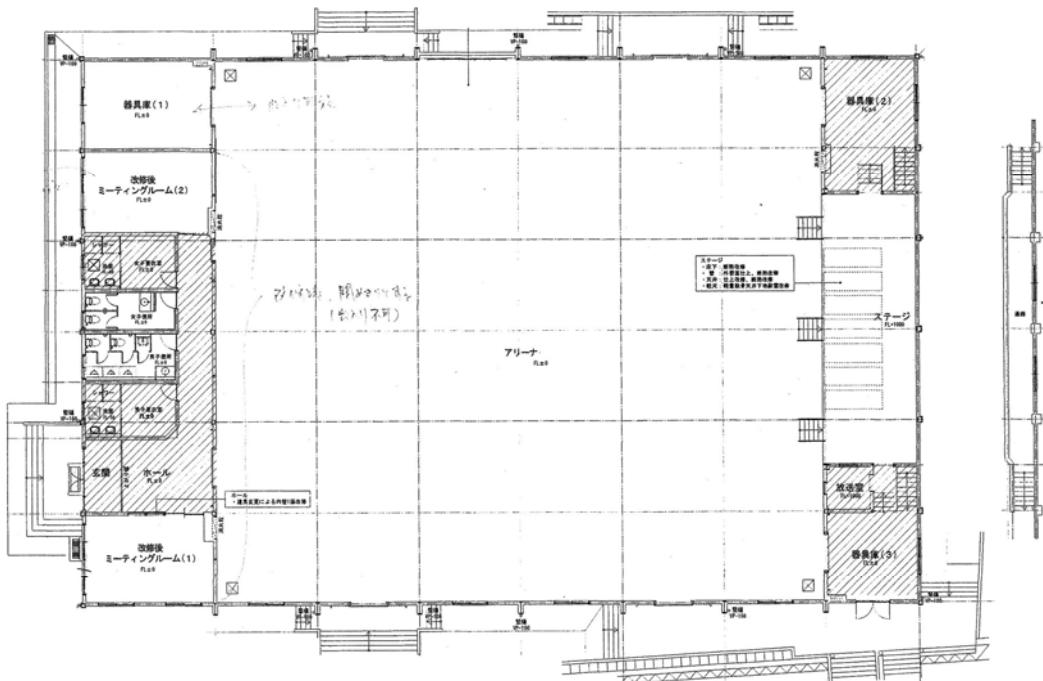


東校舎(002) 西校舎(001)  
西側立面図

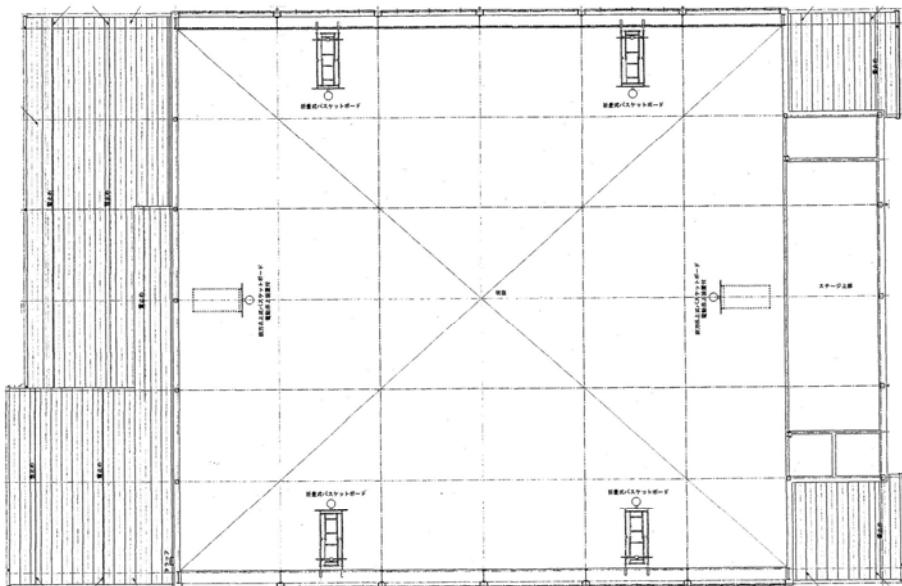
## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

### ■矢吹小学校 屋内運動場 調査図面（各階平面図、立面図）

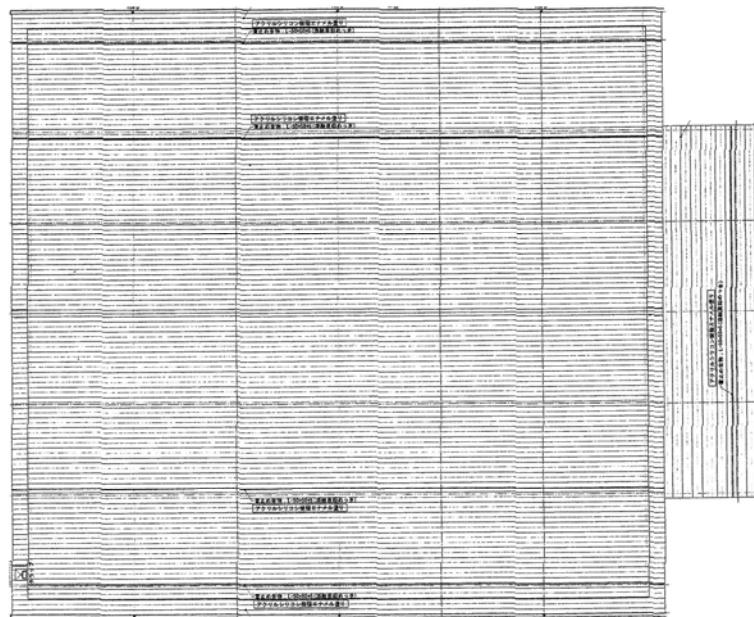
※老朽化箇所がないため調査図面のみ掲載



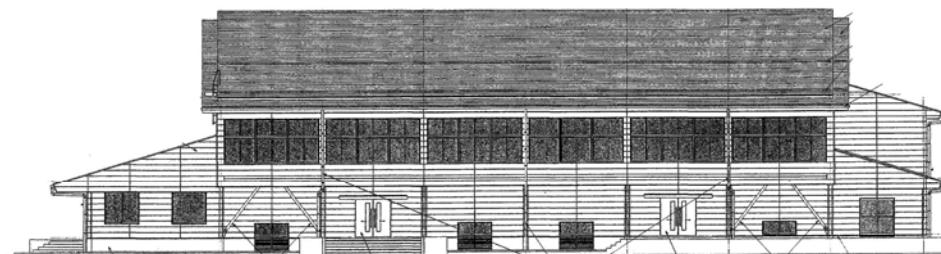
屋内運動場(009, 010) 1階平面図



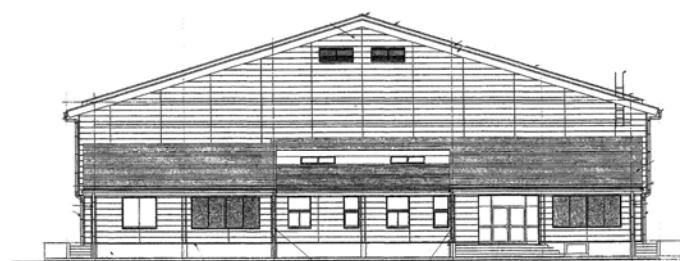
屋内運動場(009, 010) 2階平面図



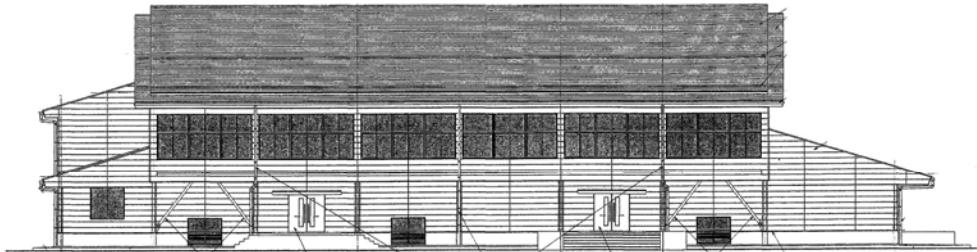
屋内運動場(009, 010) 屋根伏図



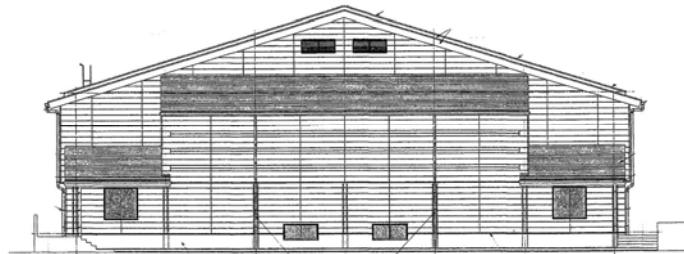
屋内運動場(009, 010) 南側立面図



屋内運動場(009, 010) 西側立面図



屋内運動場(009, 010) 北側立面図



屋内運動場(009, 010) 東側立面図

## ② 善郷小学校の老朽化状況

建物情報		劣化状況評価		
施設名	建物名 (棟番号)	屋根・屋上	外壁	内部仕上
善郷小学校	西校舎 (001)	評価C:広範囲に、ひび割れ、損壊があり、鉄筋の露出が見られる。	評価C:広範囲にひび割れがあり、一部剥落や鉄筋の露出が見られる。	評価B:経年年数36年。内壁の広範囲に幅広のひび割れがあり、一部損壊が見られる。
	東校舎 (002)	評価C:広範囲に、ひび割れ、変質(摩耗)、排水不良、雑草がある。	評価C:広範囲に、ひび割れがあり、一部鉄筋の露出、破損や浮きが見られる。	評価B:経年年数35年。内壁の広範囲にひび割れが見られる。
	給食室 (004)	評価A:部分的に変質が見られるが良好。	評価A:部分的に凹みなどがあるが良好。	評価A:経年年数36年。内部改修しており良好。
	屋内運動場 (003)	評価C:広範囲に塗装の剥がれ、さび、腐食があり、内部に漏水あとが見られる。	評価C:広範囲にひび割れ、破損、目地の劣化があり、建具の錆も見られる。	評価C:経年年数36年。ひび割れ、破損、天井に漏水あとが見られる。

\*棟番号は学校施設台帳による。

### ■善郷小学校の老朽化状況について

構造躯体は、西校舎、東校舎は新耐震基準の建物であり健全と判断する。そのほか、屋内運動場、給食室は旧耐震基準の建物で、屋内運動場は平成21年に耐震補強工事を行い、耐震安全性は確保されている。

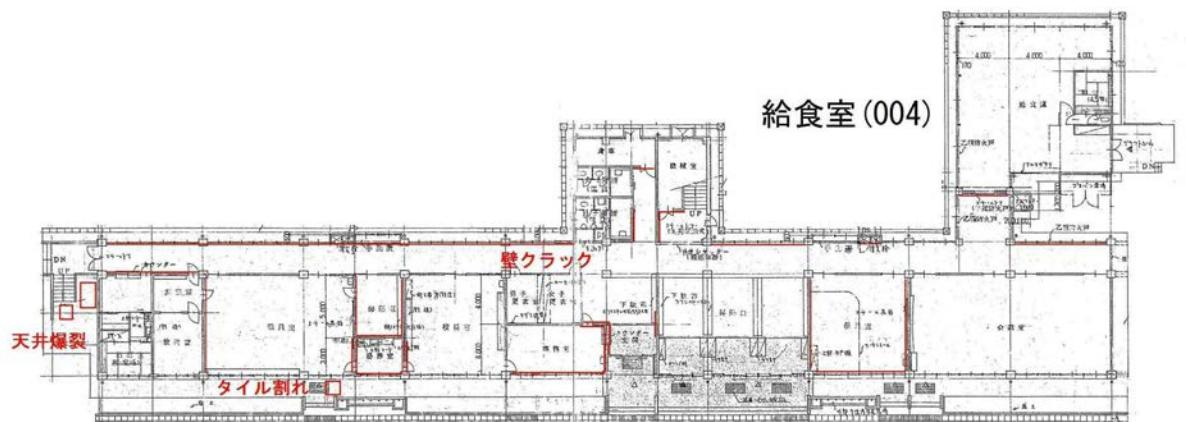
校舎(2棟)、屋内運動場は築36～37年が経過し、屋根・屋上、外壁が広範囲に劣化しているためC評価となっている。また、屋内運動場では、内部仕上げに小規模な漏水のあとがあり、C評価となっている。

校舎(2棟)は、内部仕上げにひび割れ等はあるが、漏水あとはないためB評価となった。

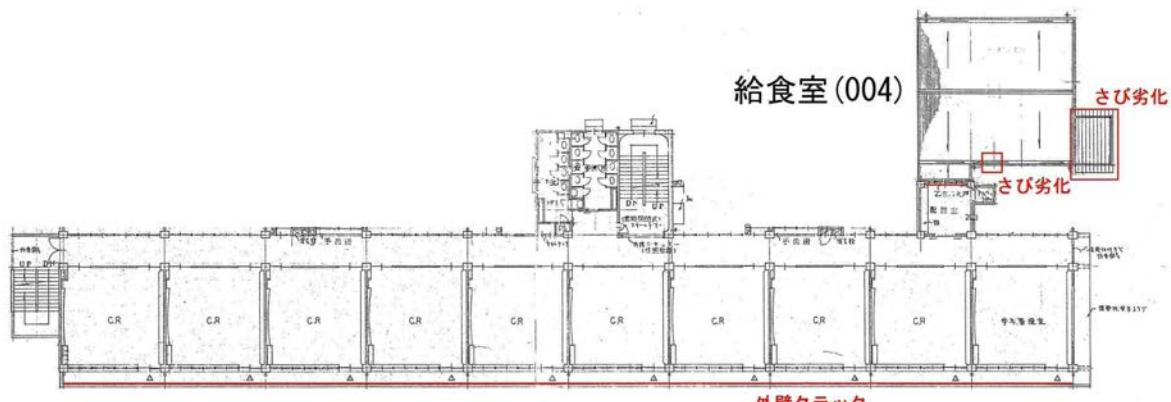
給食室は、築37年が経過しているが、平成11年に改修工事を行っており、屋根・屋上、外壁、内部仕上げはA評価となっている。また、給食室については、別途矢吹町給食センターを新設する計画があるため、今後は大規模改修を行わず維持保全としている。

矢吹町学校教育施設長寿命化計画

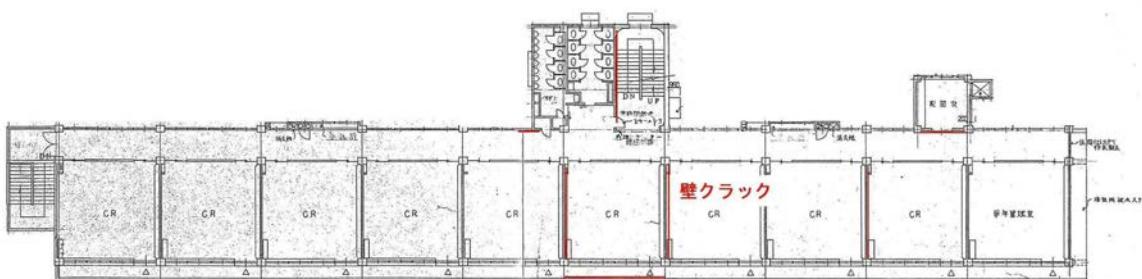
■善郷小学校 校舎 調査図面（各階平面図、立面図）



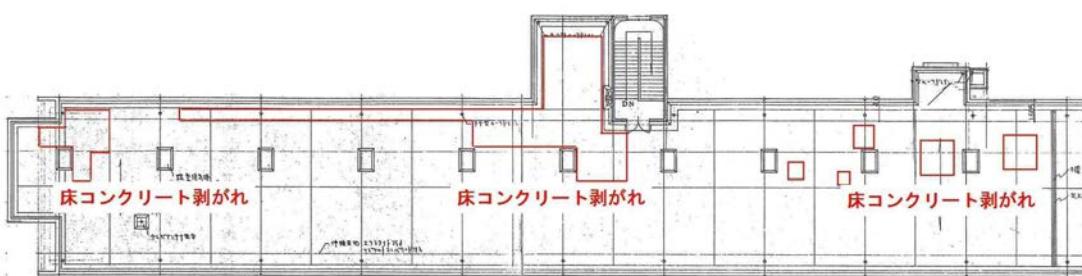
西校舎(001) 1階平面図



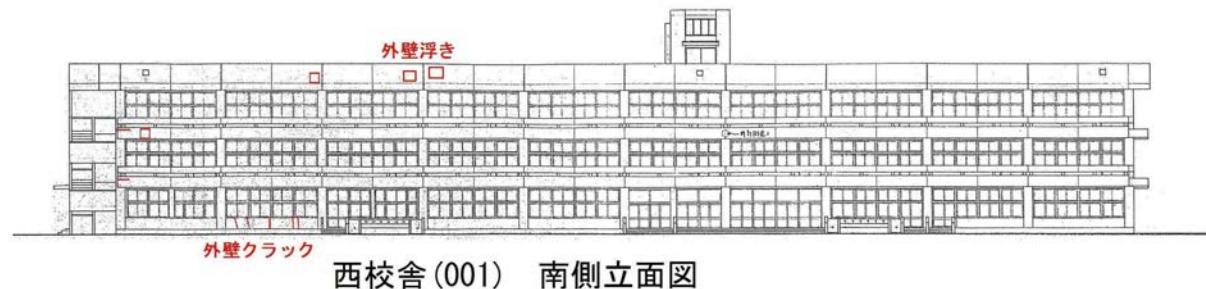
西校舎(001) 2階平面図



西校舎(001) 3階平面図



西校舎(001) 屋上平面図



西校舎(001) 南側立面図



給食室(004)

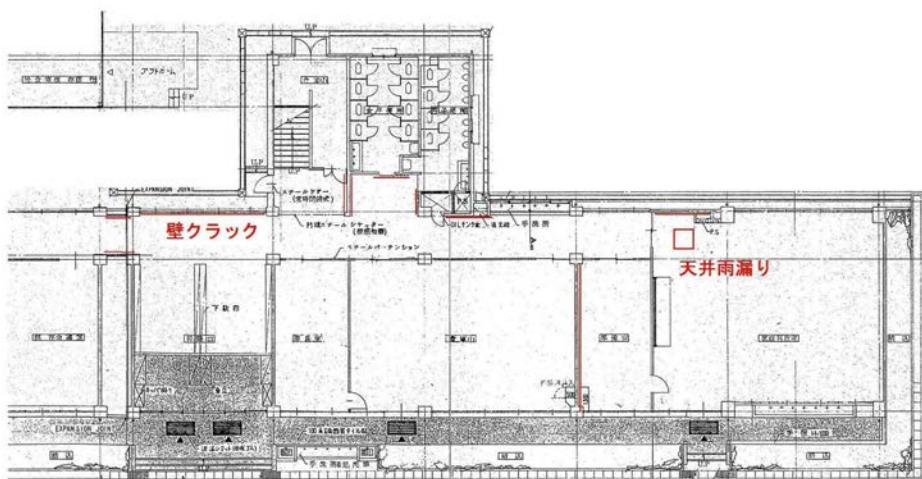
西校舎(001) 北側立面図



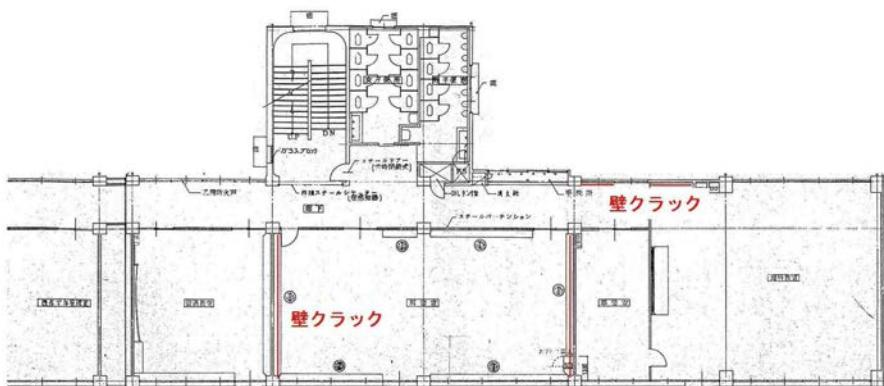
西校舎(001) 東側立面図



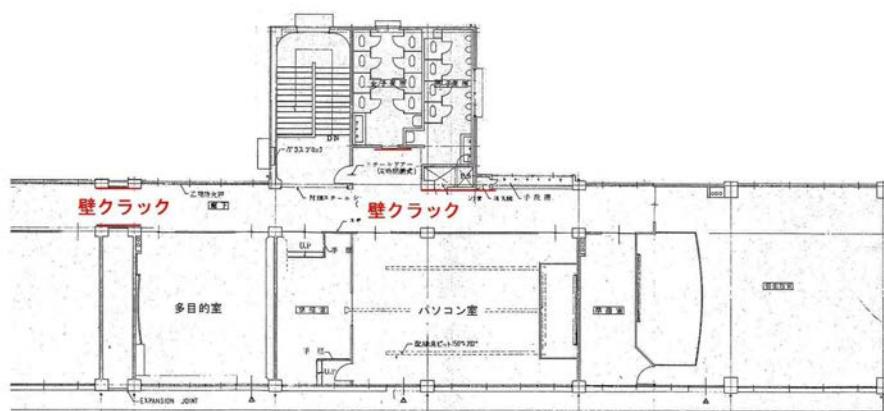
西校舎(001) 西側立面図



東校舎(002) 1階平面図

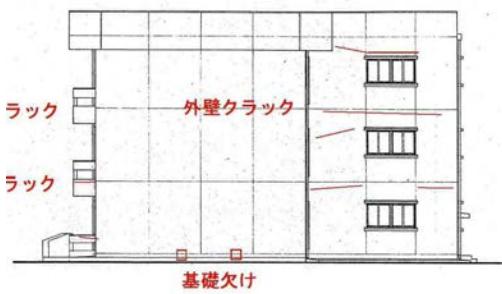
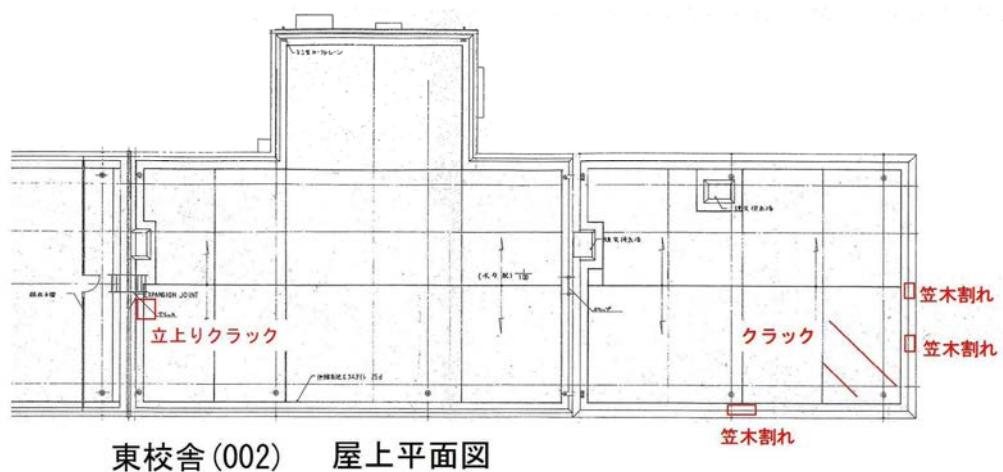


東校舎(002) 2階平面図



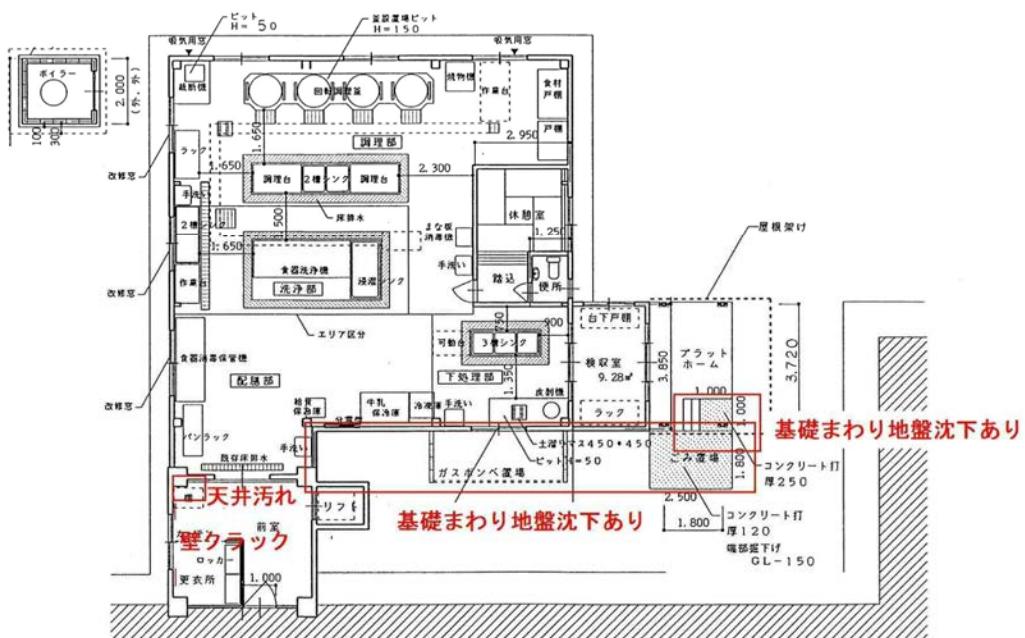
東校舎(002) 3階平面図

矢吹町学校教育施設長寿命化計画



## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

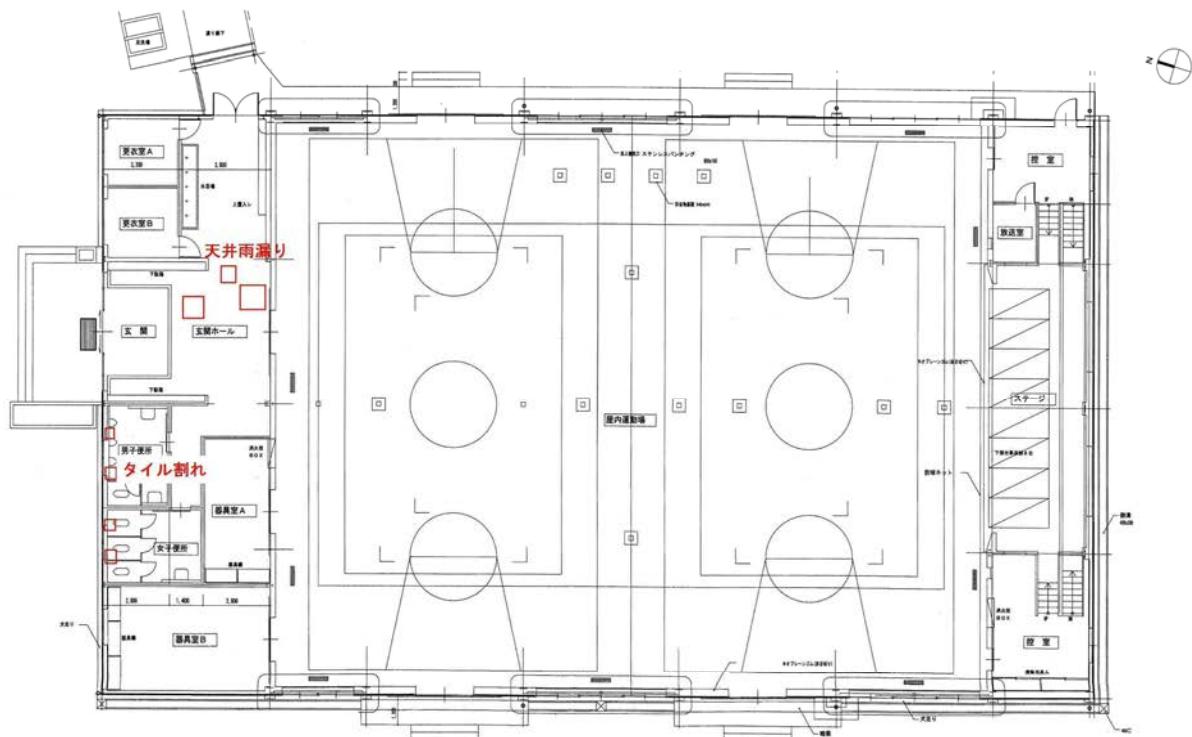
### ■善郷小学校 給食室 調査図面（平面図）



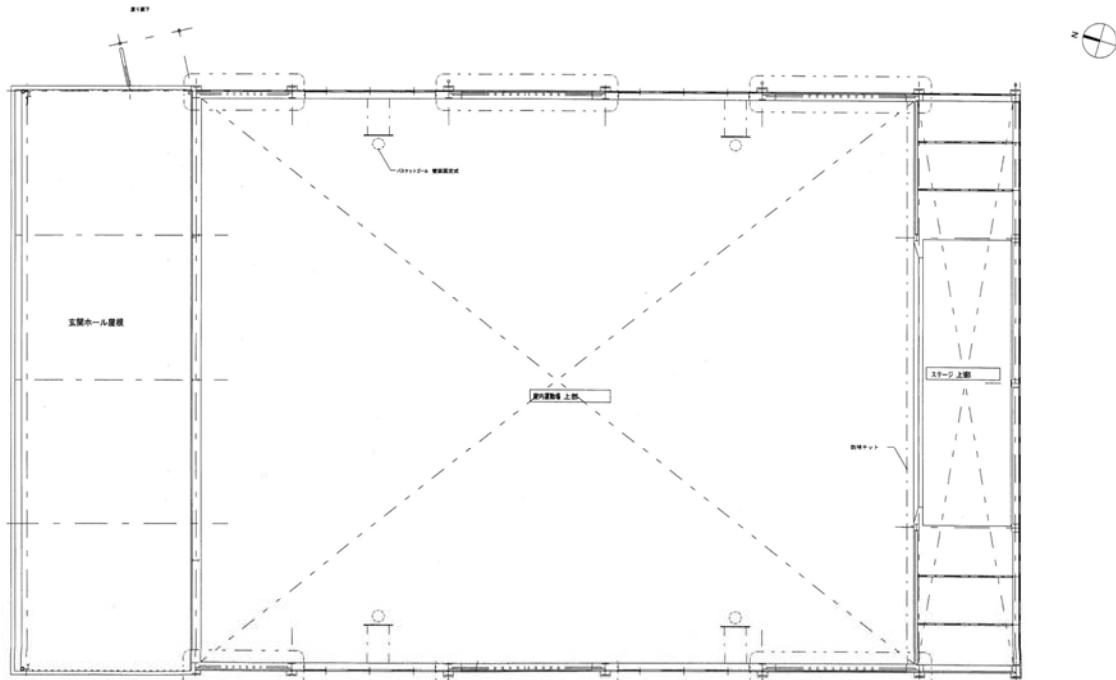
給食室(004) 平面図

## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

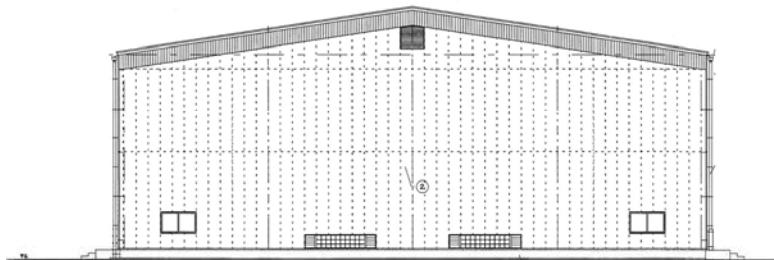
### ■善郷小学校 屋内運動場 調査図面（各階平面図、立面図）



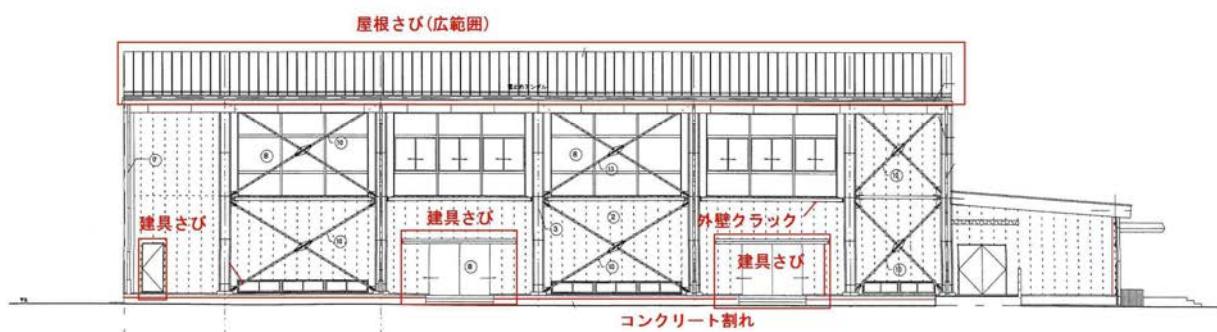
屋内運動場(003) 1階平面図



屋内運動場(003) 2階平面図



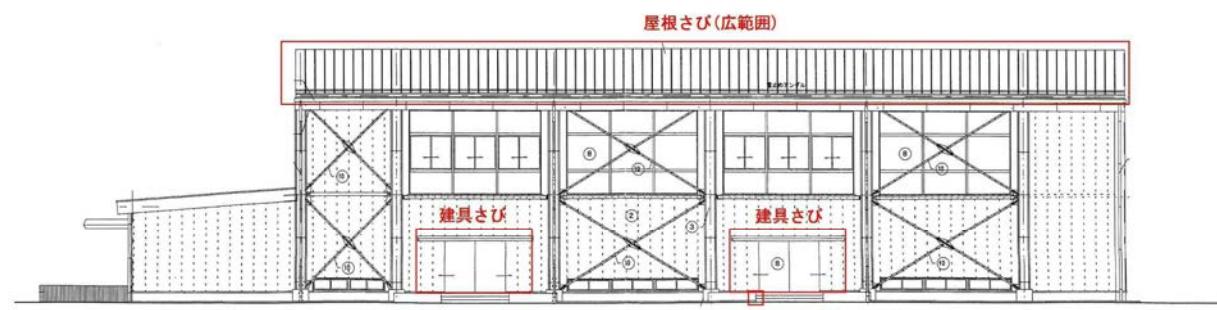
屋内運動場(003) 南側立面図



屋内運動場(003) 東側立面図

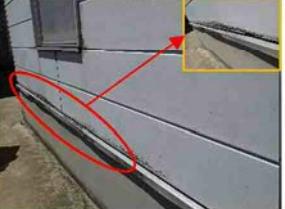


屋内運動場(003) 北側立面図



屋内運動場(003) 西側立面図

### ③ 中畠小学校の老朽化状況

建物情報		劣化状況評価		
施設名	建物名 (棟番号)	屋根・屋上	外壁	内部仕上
中畠小学校	北校舎 (001)	 評価D:広範囲に、破断、変質(摩耗)があり、内部への漏水あとが複数ある。	 評価D:広範囲に、剥落、幅広のひび割れがあり、内部への漏水あとが複数ある。	 評価D:経過年数45年。内壁の広範囲にひび割れ、さび汁があり、漏水あとが多数見られる。
	南校舎 (010)	 評価C:広範囲に、変質(摩耗)があり、笠木の割れやシーリング破損が見られる。	 評価C:広範囲に、ひび割れがあり、一部内部への漏水が見られる。	 評価C:経過年数33年。内壁の広範囲にひび割れが見られる。
	給食室 (009)	 評価B:部分的に変質が見られる。	 評価C:広範囲に、ひび割れが見られる。	 評価A:経過年数42年。内部改修しており良好。
	屋内運動場 (013)	 評価A:良好。汚れている程度。	 評価B:一部外壁材のひび割れや破損、水切り破損が見られる。	 評価B:経過年数27年。一部内壁にひび割れが見られる。

\*棟番号は学校施設台帳による。

## ■中畠小学校の老朽化状況について

構造躯体は、南校舎と屋内運動場が新耐震基準であり健全と判断する。また、北校舎、給食室は旧耐震基準であるが、北校舎は平成 5 年に耐震補強工事を実施しているため、耐震安全性は確保されている。

北校舎は、屋根・屋上、外壁において広範囲に劣化状況が確認でき、内部への漏水あとが多数見られるため、D評価となっている。内部仕上げ等は経過年数45年であること、広範囲にひび割れやさび汁、漏水あとが確認できることから、D評価となっている。

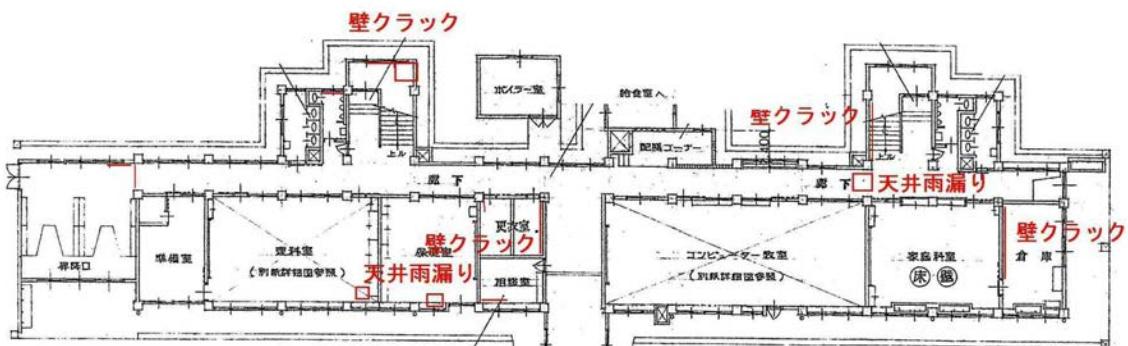
南校舎は、屋根・屋上、外壁において広範囲に劣化状況が確認でき、内部で小規模な漏水あとが見られるため、C評価となっている。内部仕上げ等は経過年数33年であること、広範囲にひび割れが確認でき一部漏水あとが確認できることから、C評価となっている。

屋内運動場は、築27年を経過しているが、屋根は汚れている程度で良好であるため、A評価となっている。外壁は一部ひび割れや破損が見られるためB評価であった。内部仕上げ等は経過年数が20年以上であることから、B評価となっている。

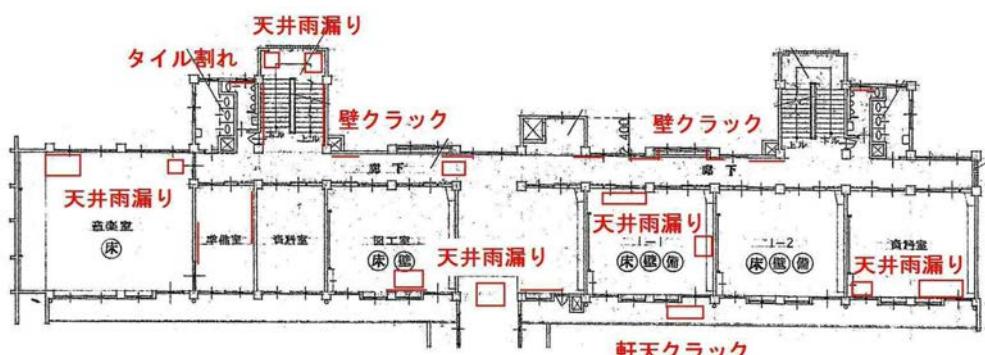
給食室は、屋根は部分的に変質が見られるためB評価となっている。外壁は、広範囲にひび割れがあり、今後内部への影響が懸念されるためC評価。内部仕上げは改修済みで良好であるためA評価となっている。また、給食室については、別途矢吹町給食センターを新設する計画があるため、今後は大規模改修を行わず維持保全としている。

矢吹町学校教育施設長寿命化計画

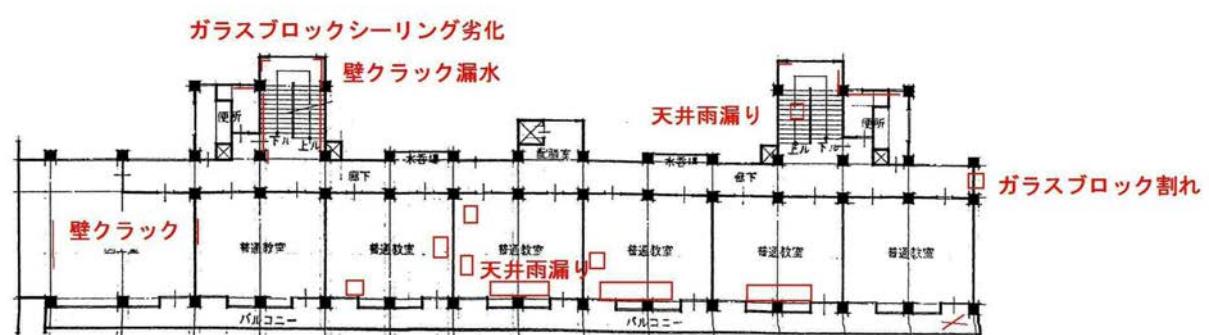
■中畠小学校 校舎 調査図面（各階平面図、立面図）



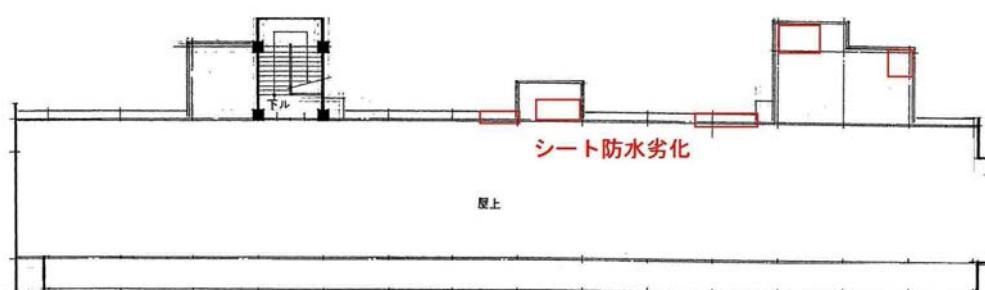
北校舎(001) 1階平面図



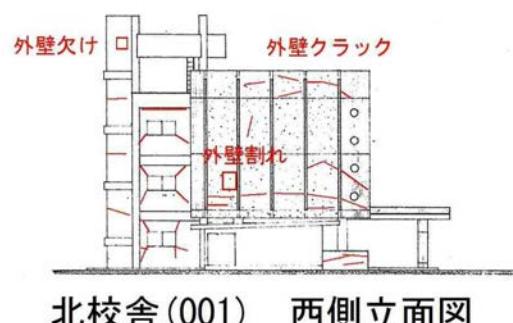
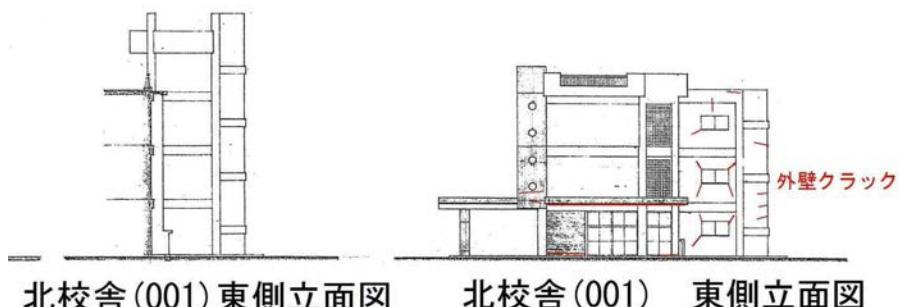
北校舎(001) 2階平面図

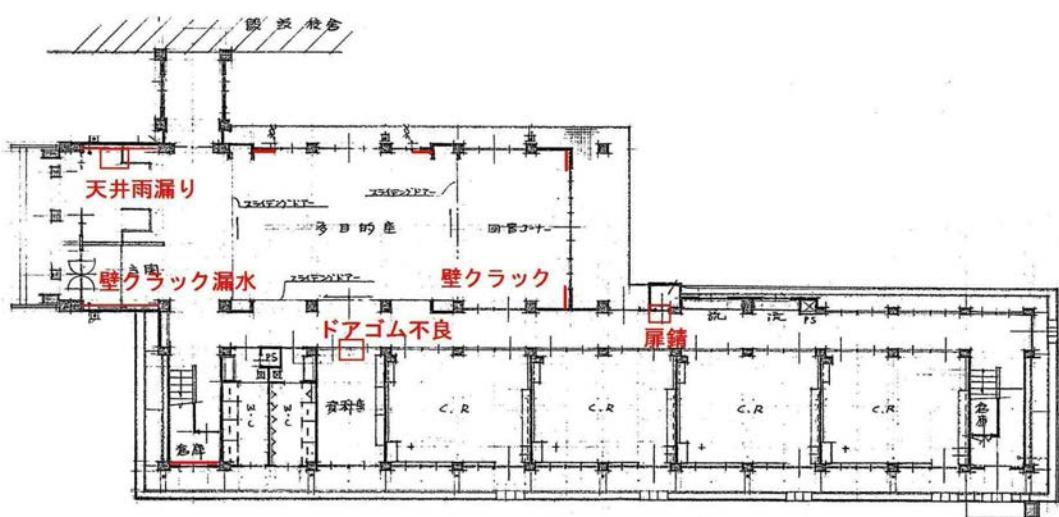


北校舎(001) 3階平面図

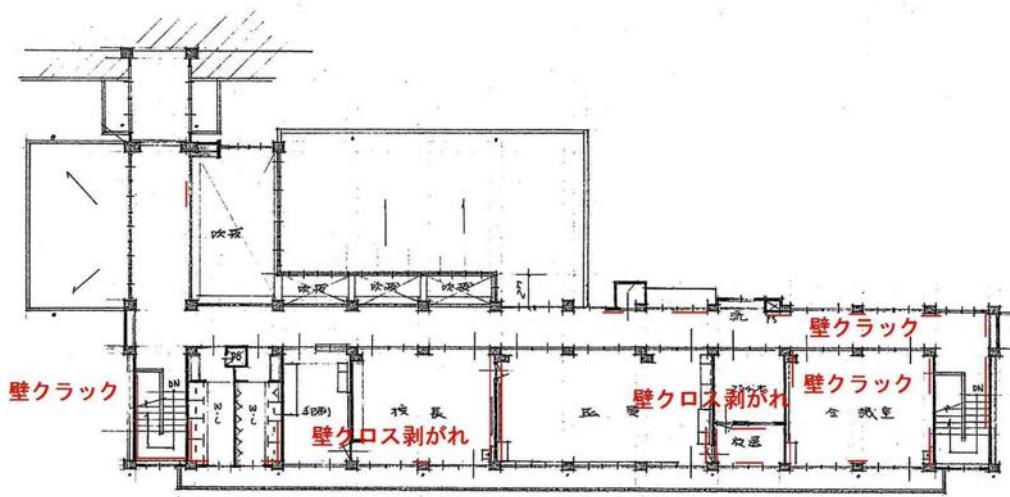


北校舎(001) 屋上平面図

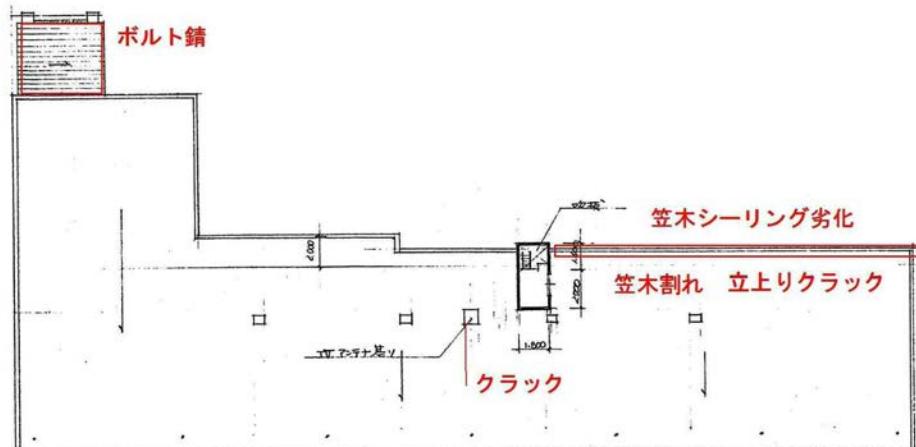




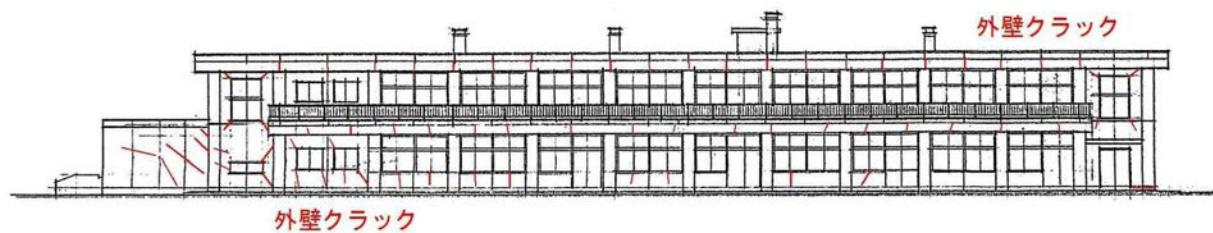
南校舎(010) 1階平面図



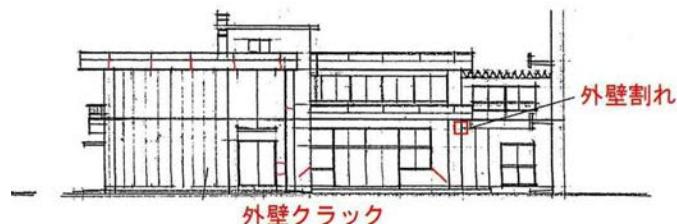
南校舎(010) 2階平面図



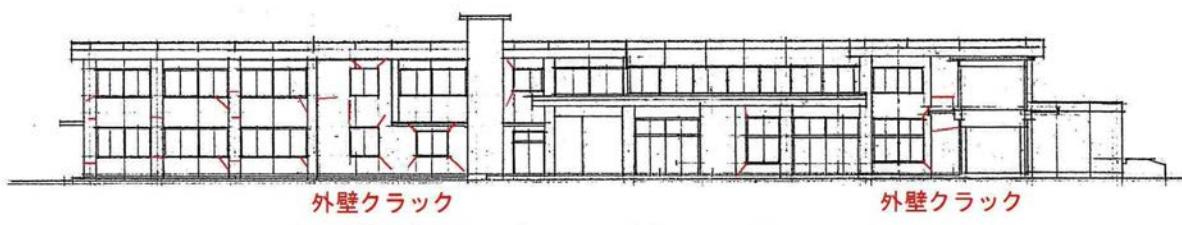
南校舎(010) 屋上平面図



南校舎(010) 南側立面図



南校舎(010) 東側立面図



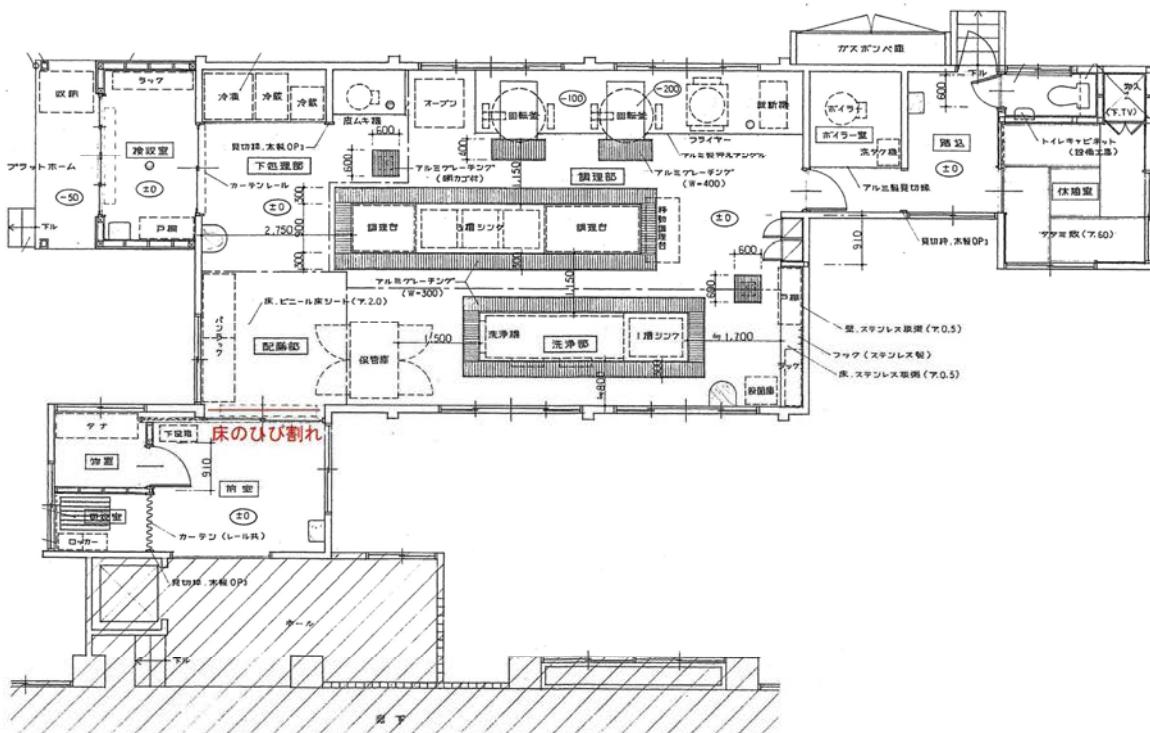
南校舎(010) 北側立面図



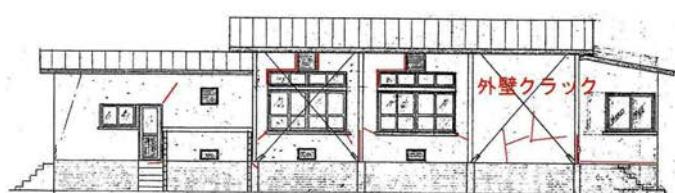
南校舎(010) 西側立面図

矢吹町学校教育施設長寿命化計画

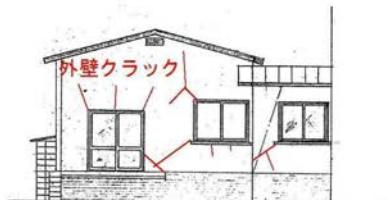
■中畠小学校 給食室 調査図面（平面図、立面図）



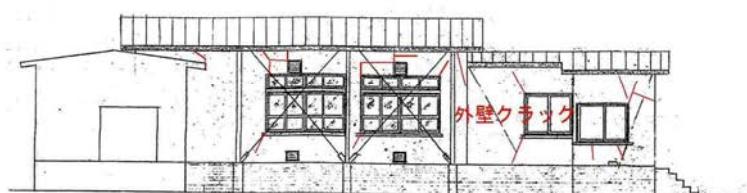
給食室(009) 平面図



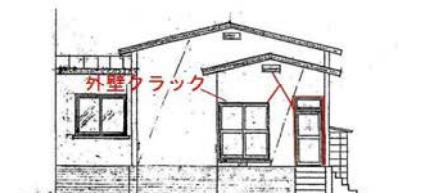
給食室(009) 北側立面図



給食室(009) 西側立面図

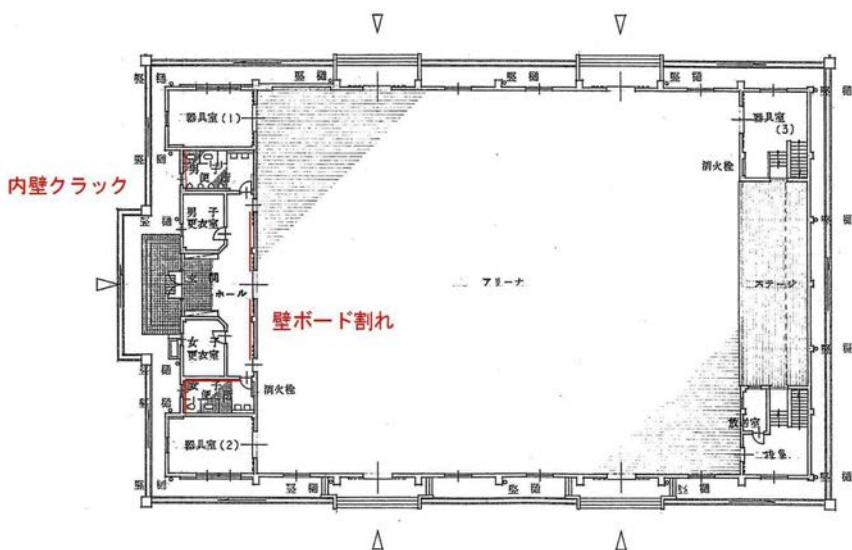


給食室(009) 南側立面図

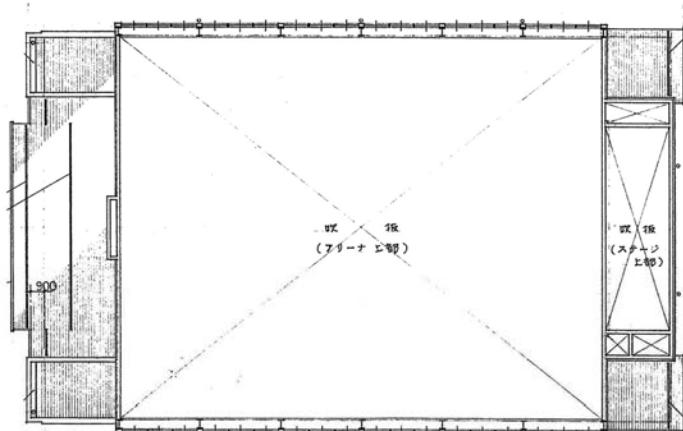


給食室(009) 東側立面図

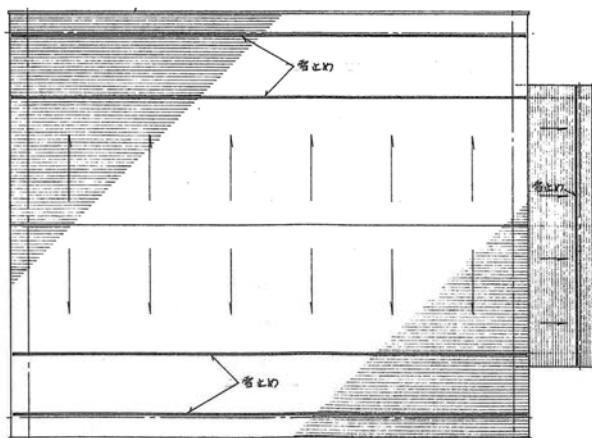
■中畠小学校 屋内運動場 調査図面（各階平面図、立面図）



屋内運動場(013) 1階平面図



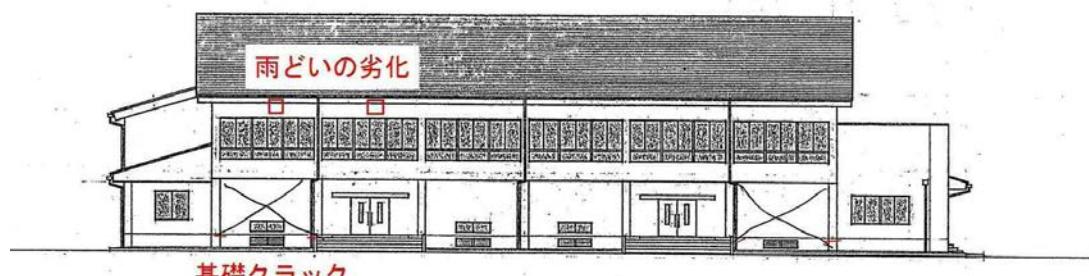
屋内運動場(013) 2階平面図



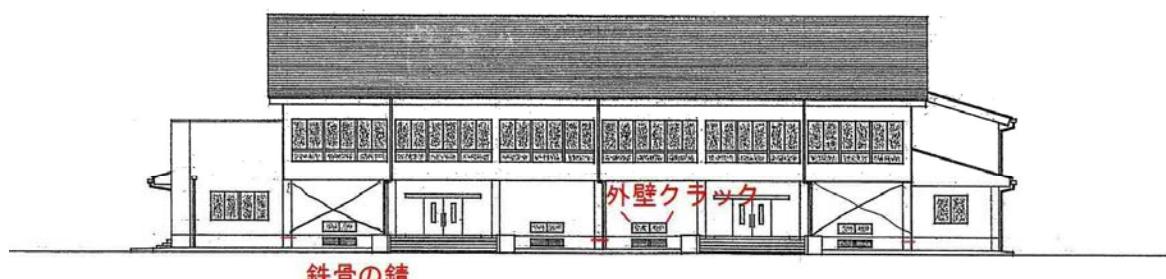
屋内運動場(013) 屋根伏図



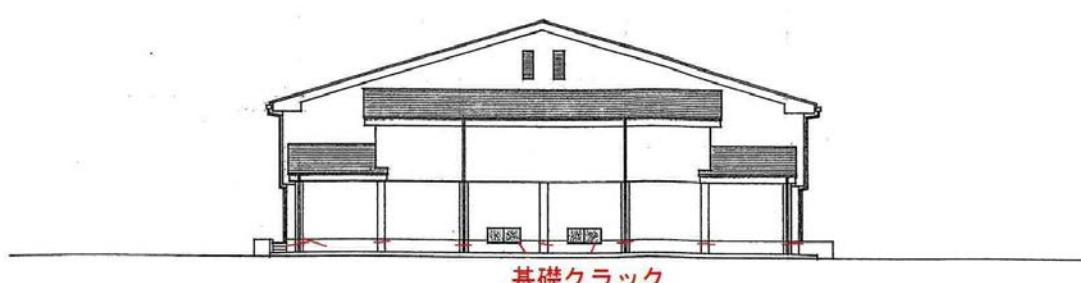
屋内運動場(013) 南側立面図



屋内運動場(013) 西側立面図

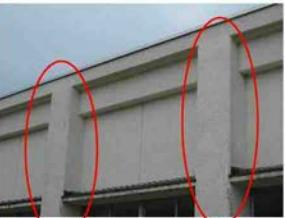


屋内運動場(013) 東側立面図



屋内運動場(013) 北側立面図

#### ④ 三神小学校の老朽化状況

建物情報		劣化状況評価		
施設名	建物名 (棟番号)	屋根・屋上	外壁	内部仕上
三神小学校	南校舎 (004)	 評価C: 広範囲に、変質(摩耗)、排水不良があり、1階天井漏水あとがある。	 評価B: 部分的にひび割れがあり、一部破損箇所がある。	 評価B: 経年年数30年。内壁の広範囲にひび割れがあり、一部天井漏水あとがある。
	北校舎 (005)	 評価C: 広範囲に、変質(摩耗)があり、部分的にめくれがある。	 評価C: 広範囲に、ひび割れ、さび汁があり、一部破損や鉄筋の露出箇所がある。	 評価B: 経年年数30年。内壁の広範囲にひび割れがある。
	屋内運動場 (011)	 評価A: 良好。汚れている程度。	 評価B: 一部外壁ボードの割れ、水切り劣化、照明器具バーの割れが見られる。	 評価A: 経年年数15年。一部内壁にひび割れ、開口部手摺の破損が見られる。

※棟番号は学校施設台帳による。

### ■三神小学校の老朽化状況について

構造躯体は、3棟共に新耐震基準であり健全と判断する。

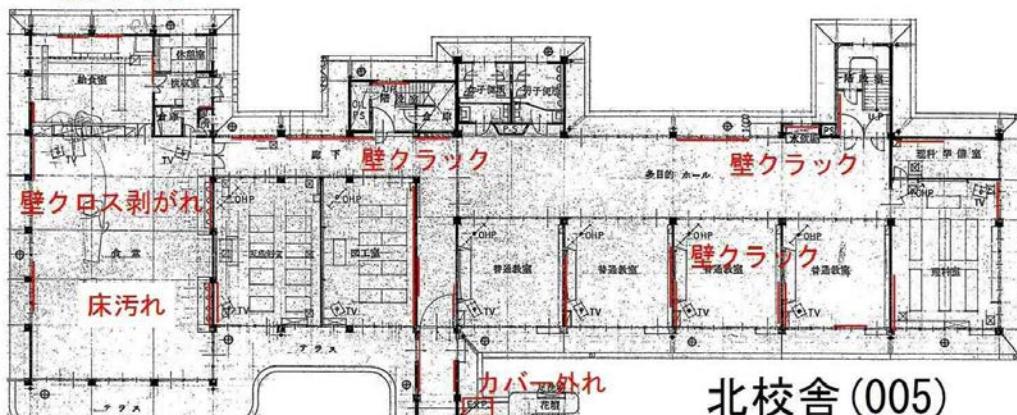
南校舎は、屋根・屋上において広範囲に劣化状況が確認でき、内部への漏水あともあつたためC評価、外壁は一部ひび割れ等があるが部分的であるためB評価となっている。内部仕上げ、電気設備、機械設備は経過年数30年であることから、B評価であった。

北校舎は、屋根・屋上、外壁において広範囲に劣化状況が確認できることから、C評価となっている。内部仕上げ、電気設備、機械設備は経過年数30年であることから、B評価であった。

屋内運動場は、屋根は汚れている程度で良好、A評価となっている。外壁は一部劣化が見られるためB評価となる。内部仕上げ、電気設備、機械設備は経過年数15年から、A評価となっている。

■三神小学校 校舎 調査図面（各階平面図、立面図）

**壁クラック**

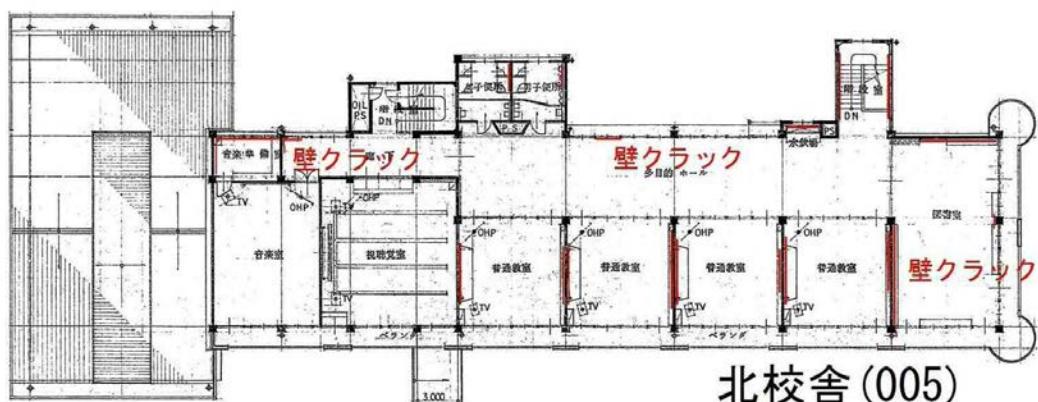


北校舎 (005)

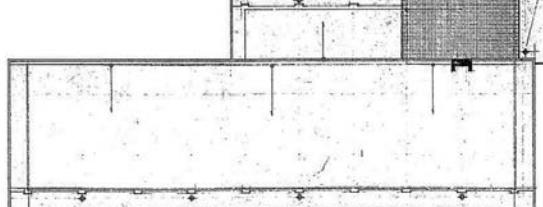


南校舎 (004)

1階平面図

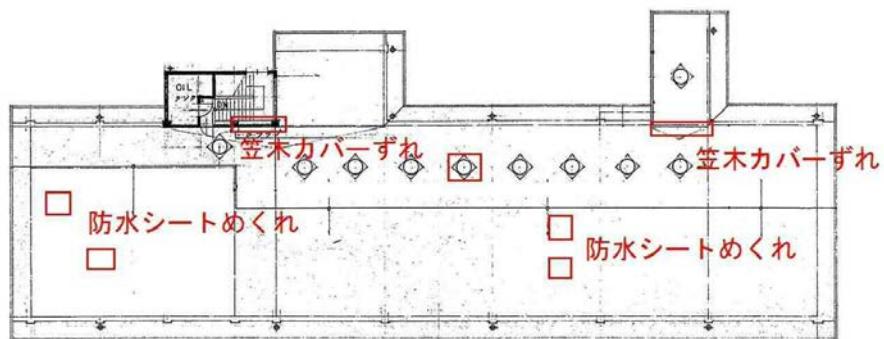


北校舎 (005)

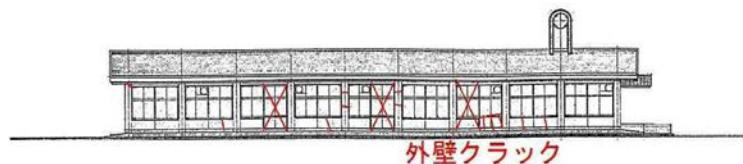


南校舎 (004)

2階平面図



北校舎(005) 屋上平面図



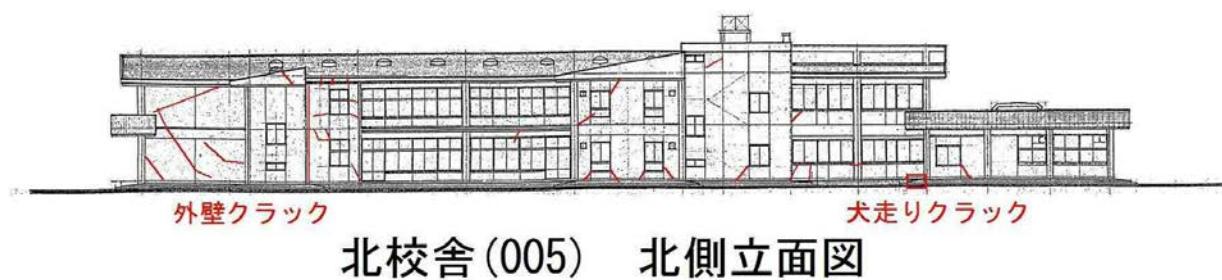
南校舎(004) 南側立面図



北校舎(005) 南側立面図



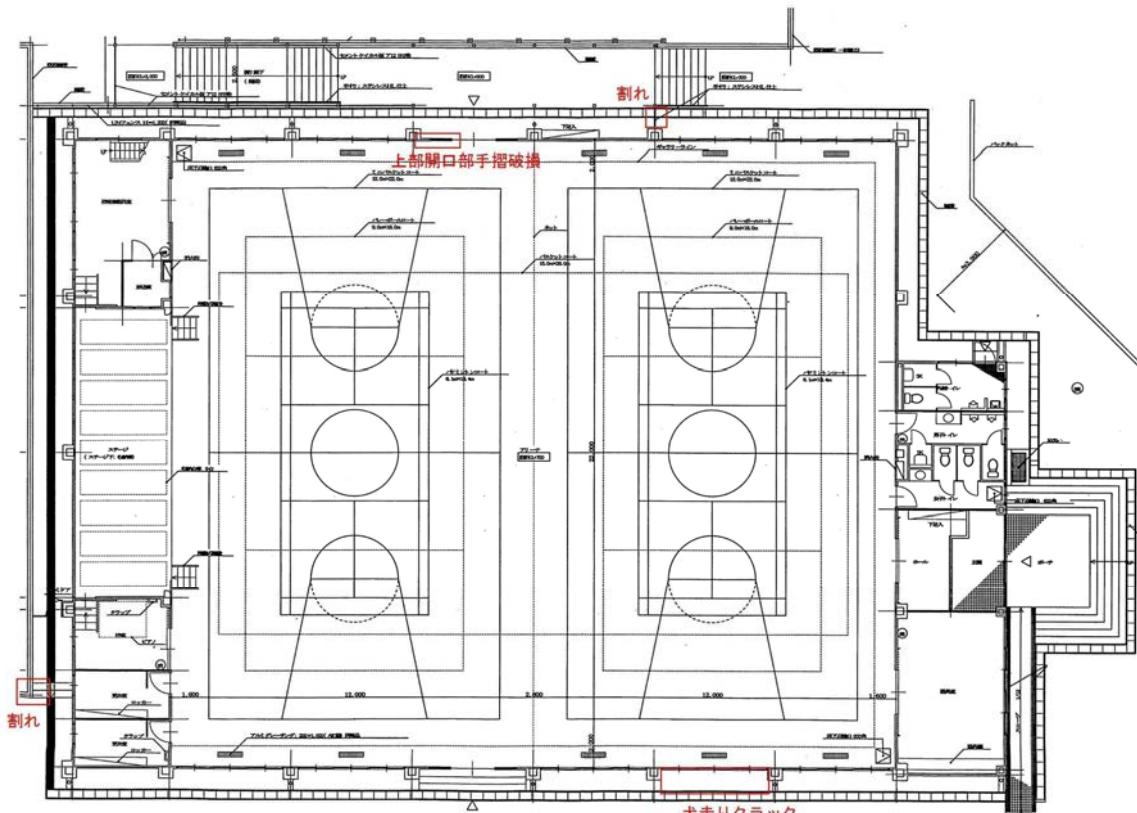
西側立面図



南校舎(004) 北校舎(005)



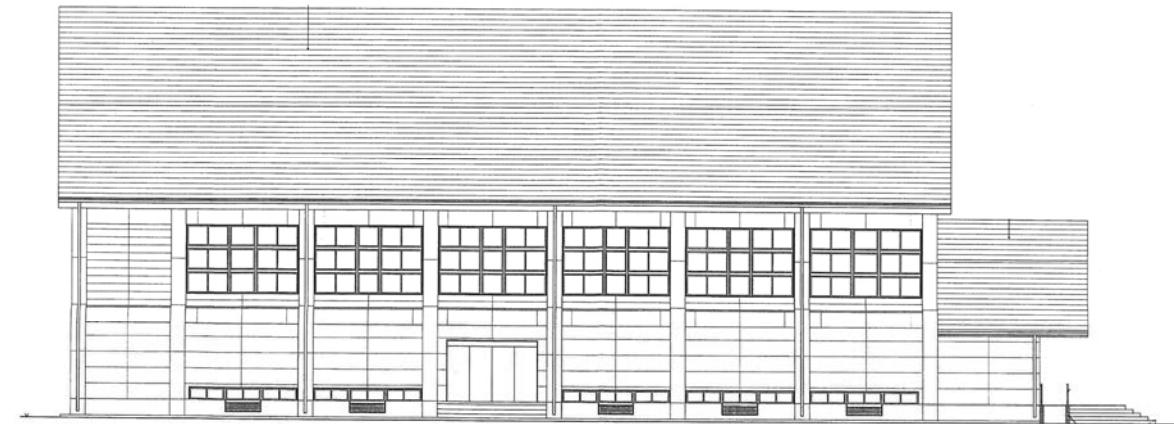
■三神小学校 屋内運動場 調査図面（平面図、立面図）



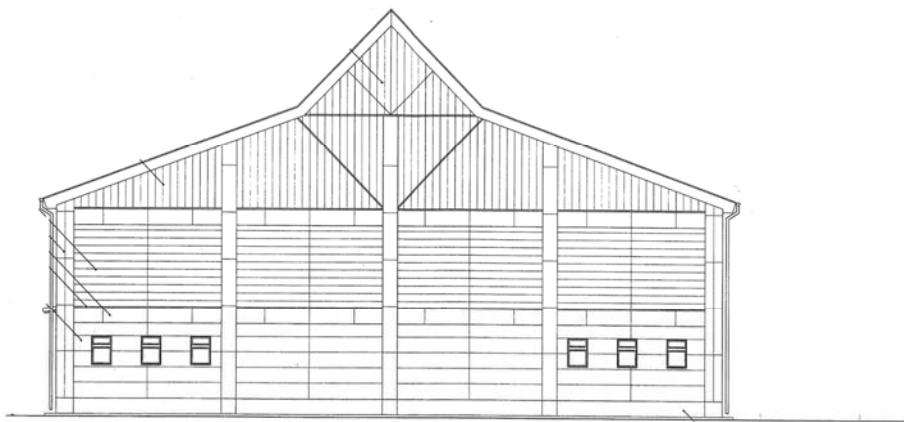
屋内運動場(011) 平面図



屋内運動場(011) 南側立面図



屋内運動場(011) 西側立面図



屋内運動場(011) 北側立面図



屋内運動場(011) 東側立面図

矢吹町学校教育施設長寿命化計画

⑤ 矢吹中学校の老朽化状況

建物情報		劣化状況評価		
施設名	建物名 (棟番号)	屋根・屋上	外壁	内部仕上
矢吹中学校	校舎 (013,015, 016)			
		評価A: 経過年数7年。良好。	評価A: 一部装飾タイルの剥脱があるが、良好である。	評価A: 経過年数7年。
	給食室 食堂 (010)			
		評価A: 汚れている程度で、良好である。	評価B: 全体的に外壁の汚れがあり、部分的にひび割れがある程度。	評価B: 経過年数21年。
	屋内 運動場 (011,012)			
		評価A: 経過年数7年。良好。	評価A: 一部外壁にヘアクラックが見られるが良好。	評価A: 経過年数7年。
	武道場 (018)			
		評価A: 経過年数6年。良好。	評価A: 一部装飾タイルの剥脱があるが、良好である。	評価A: 経過年数6年。

※棟番号は学校施設台帳による。

建物情報		劣化状況評価		
施設名	建物名 (棟番号)	屋根・屋上	外壁	内部仕上
矢吹中学校	屋内 プール (017,019)			
		評価A:経過年数6年。良好。	評価A:一部装飾タイルの剥脱があるが、良好である。	評価A:経過年数6年。

※棟番号は学校施設台帳による。

### ■矢吹中学校の老朽化状況について

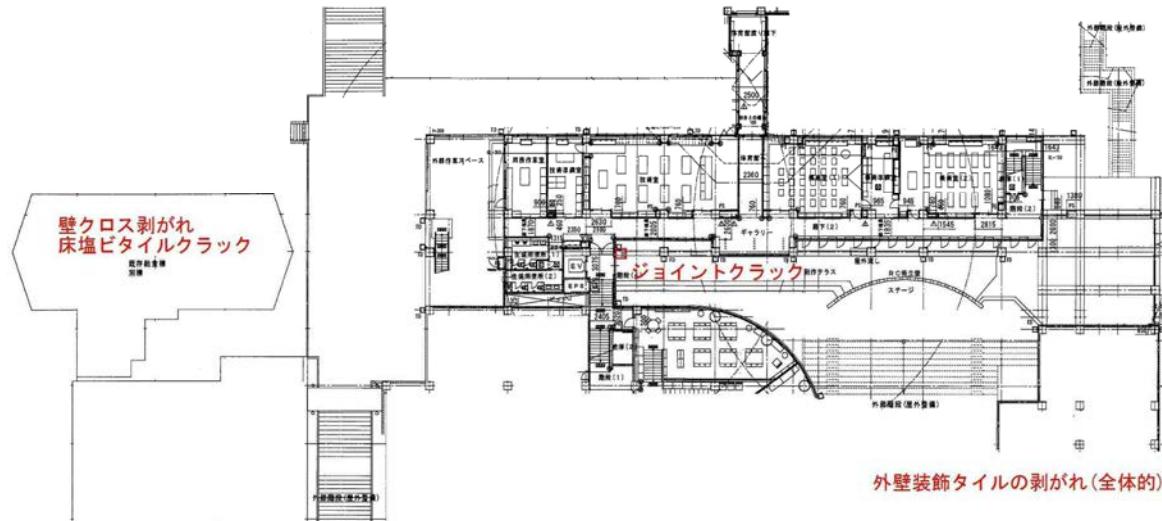
構造躯体は、校舎、給食室食堂、屋内運動場、武道場、屋内プールの全てが新耐震基準の建物であり健全と判断する。

校舎、屋内運動場、武道場、屋内プールは、一部外壁の装飾タイル剥落はあるが、築6～7年で経過年数も浅く良好であるため、屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備全ての項目においてA評価となっている。

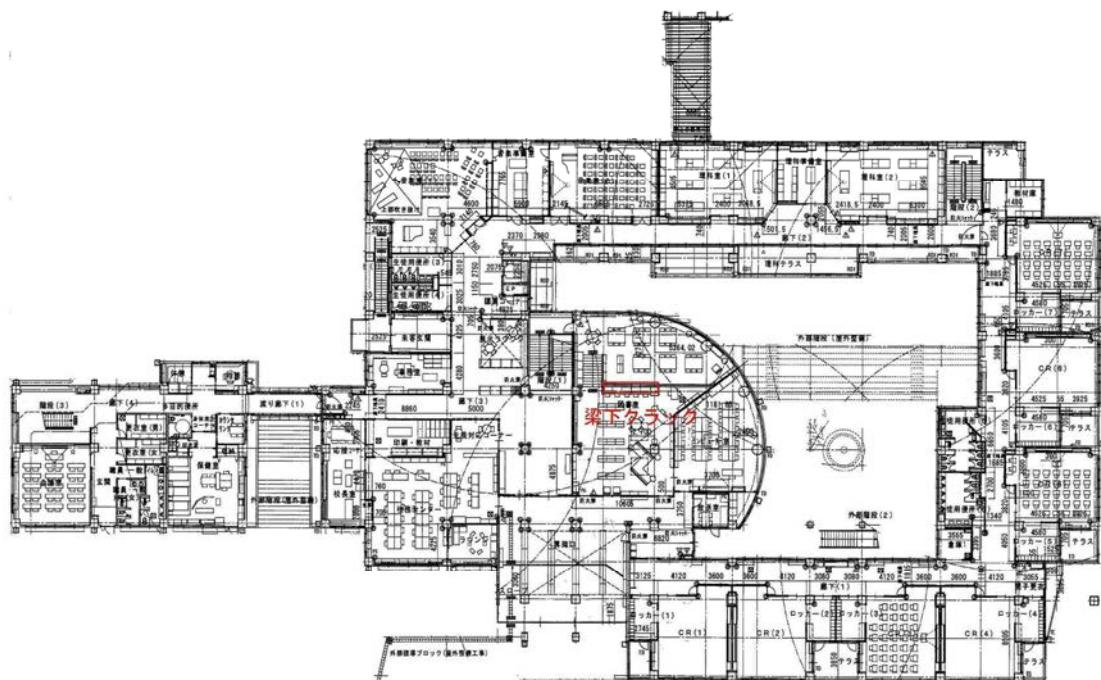
給食室食堂は、築21年を経過し、外壁で広範囲に汚れや一部ひび割れが確認できることからB評価、屋根・屋上ではA評価となっている。そのほか、経過年数が20年以上であることから、内部仕上げ、電気設備、機械設備でB評価であった。また、給食室については、別途矢吹町給食センターを新設する計画があるため、今後は大規模改修を行わず維持保全としている。

## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

### ■矢吹中学校 校舎 調査図面（各階平面図、立面図）

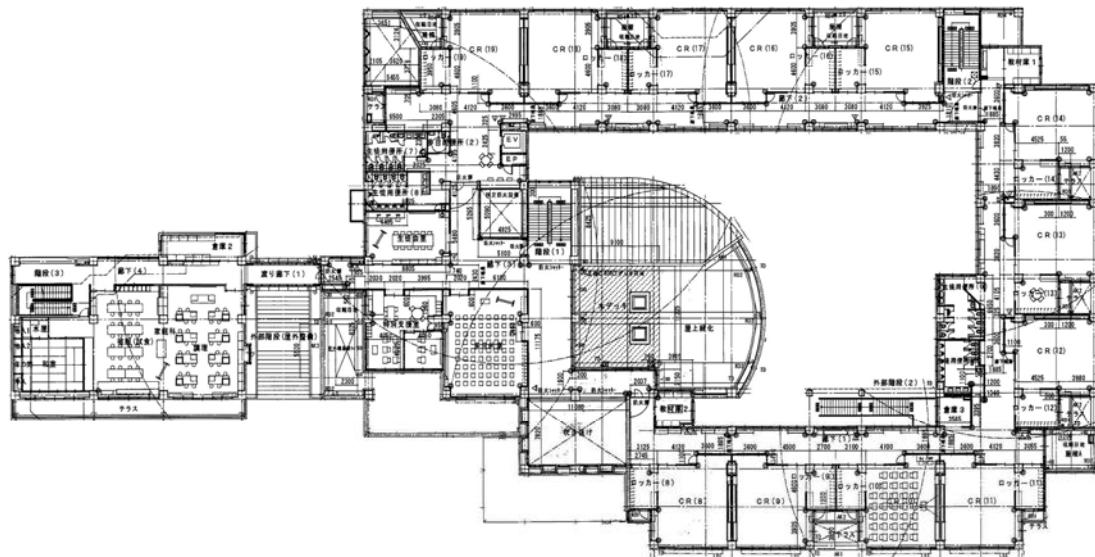


校舎(013, 015, 016) 1階平面図

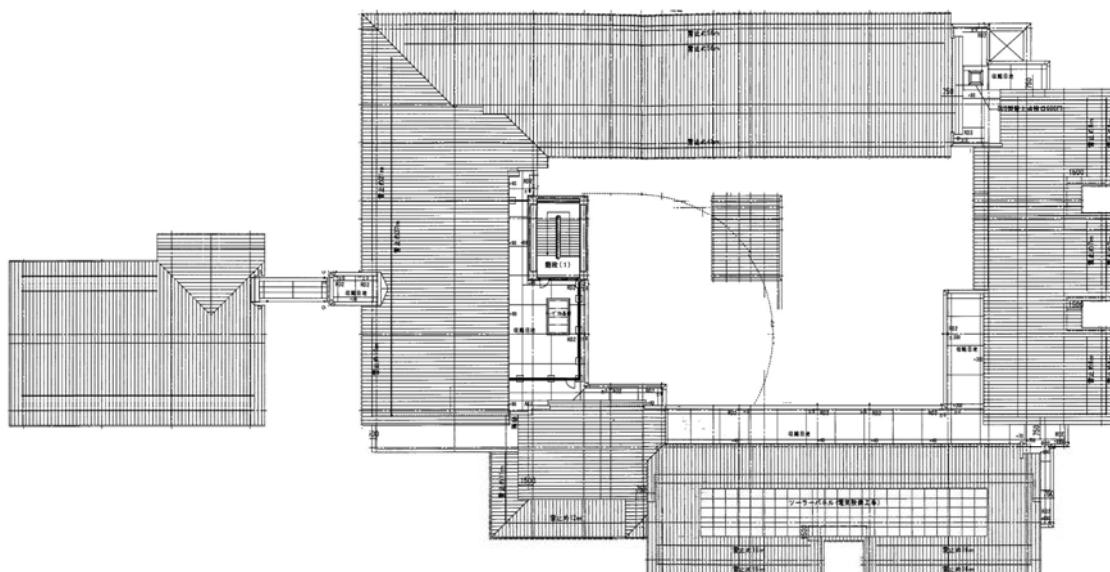


校舎(013, 015, 016) 2階平面図

## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画



### 校舎(013, 015, 016) 3階平面図



### 校舎(013, 015, 016) 屋根伏図



校舎(013, 015, 016) 南側立面図



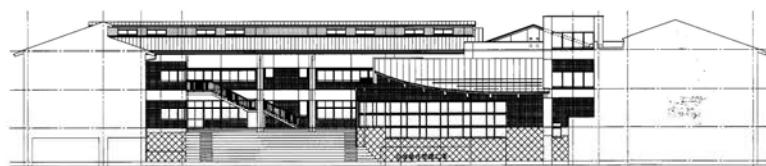
校舎(013, 015, 016) 東側立面図



校舎(013, 015, 016) 北側立面図



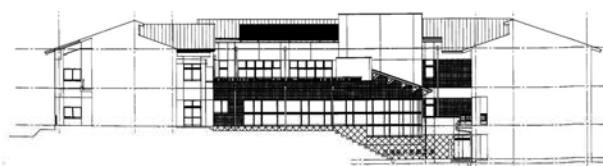
校舎(013, 015, 016) 西側立面図



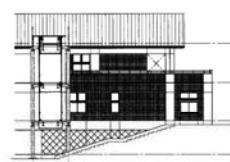
校舎(013, 015, 016) 南棟立面図



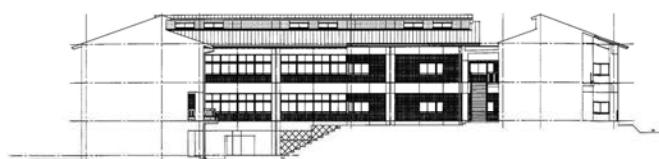
渡り廊下部東側立面図



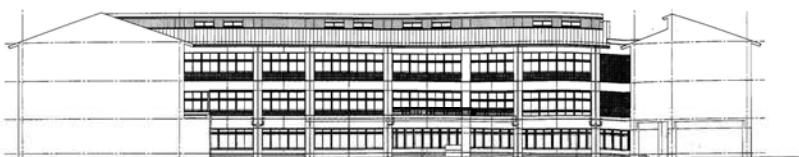
校舎(013, 015, 016) 西棟立面図



渡り廊下部西側立面図



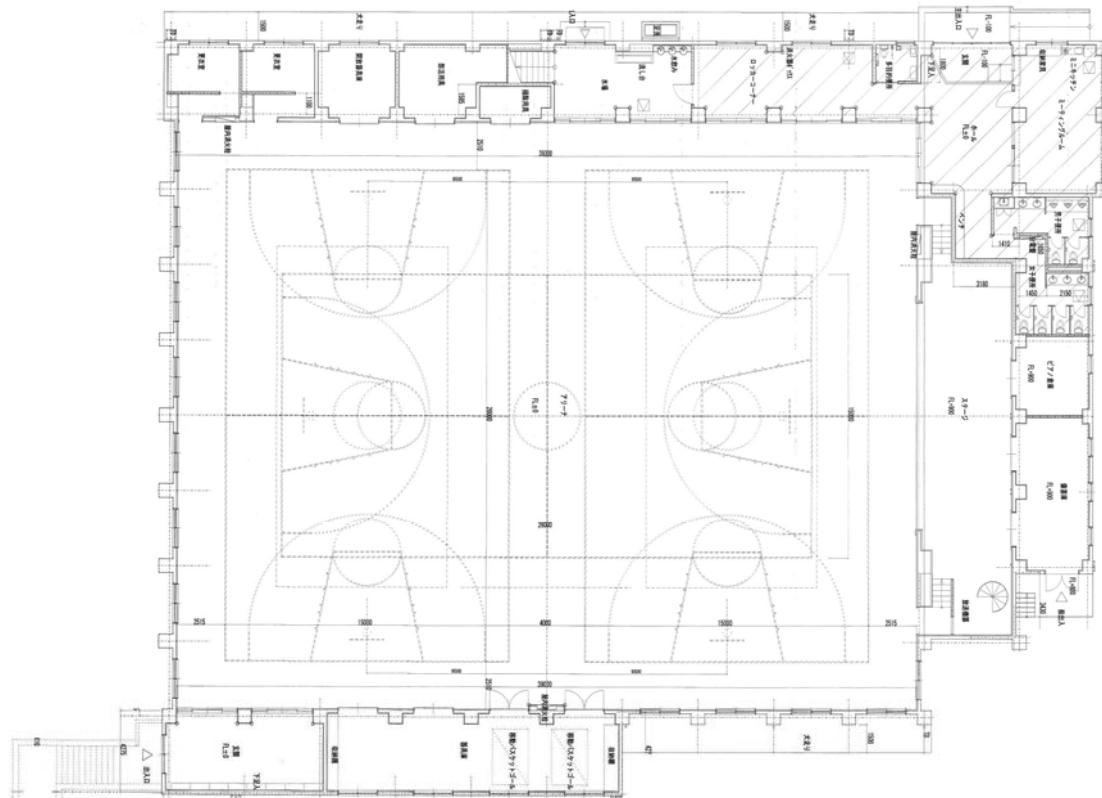
校舎(013, 015, 016) 東棟立面図



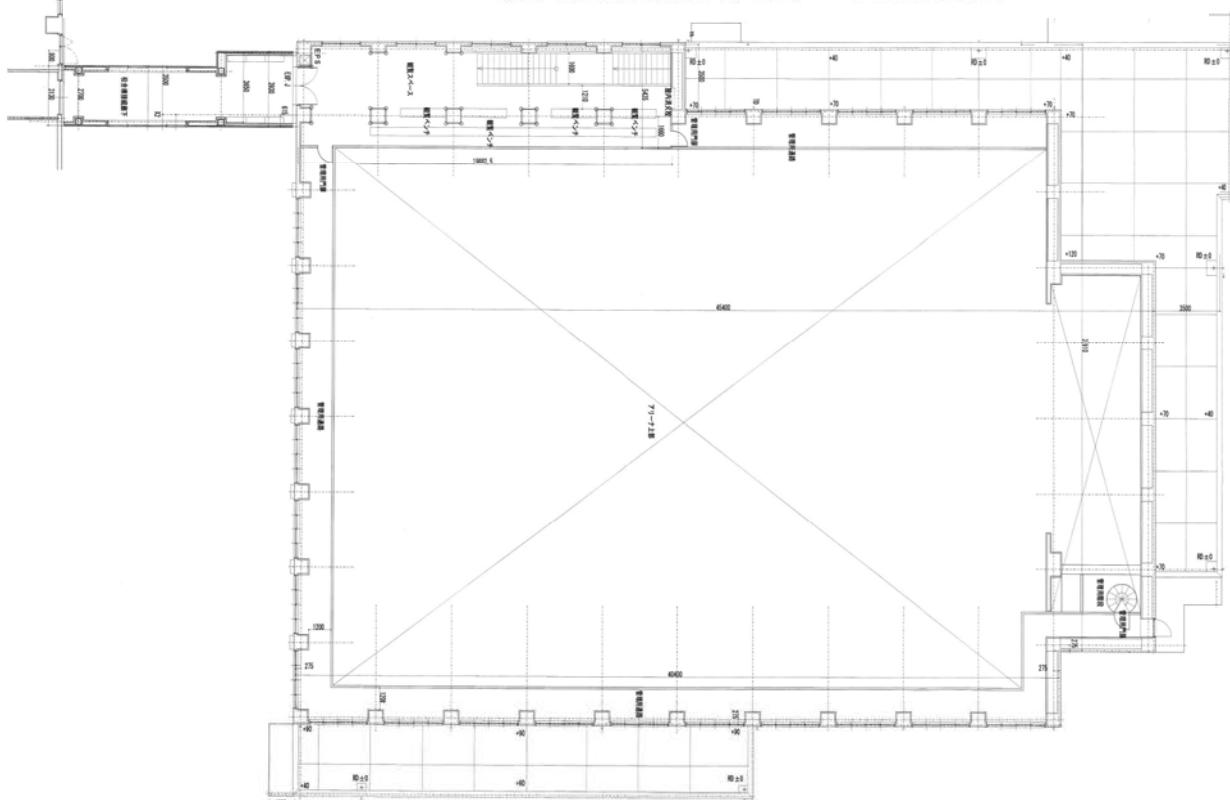
校舎(013, 015, 016) 北棟立面図

## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

### ■矢吹中学校 屋内運動場 調査図面（各階平面図、立面図）



屋内運動場(011, 012) 1階平面図



屋内運動場(011, 012) 2階平面図

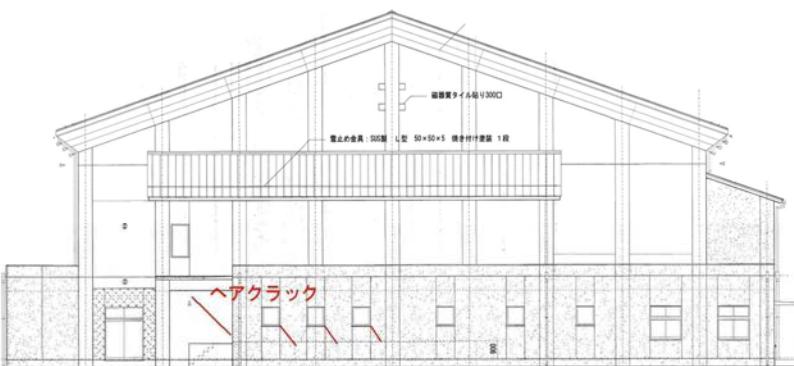
矢吹町学校教育施設長寿命化計画



屋内運動場(011, 012) 南側立面図



屋内運動場(011, 012) 西側立面図



屋内運動場(011, 012) 北側立面図



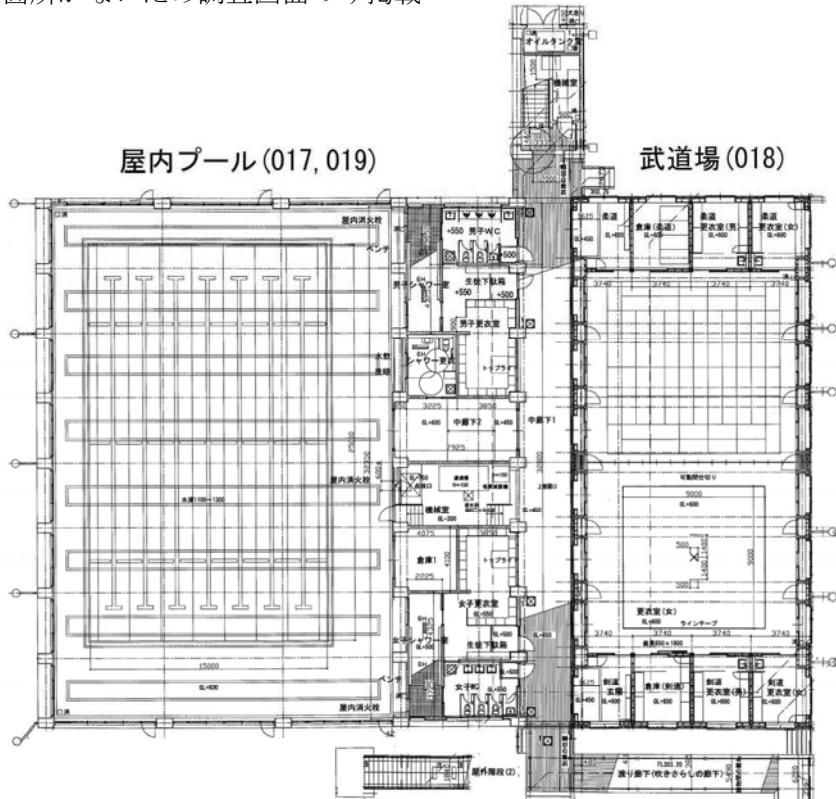
屋内運動場(011, 012) 東側立面図

## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

### ■矢吹中学校 屋内プール・武道場 調査図面（各階平面図、立面図）

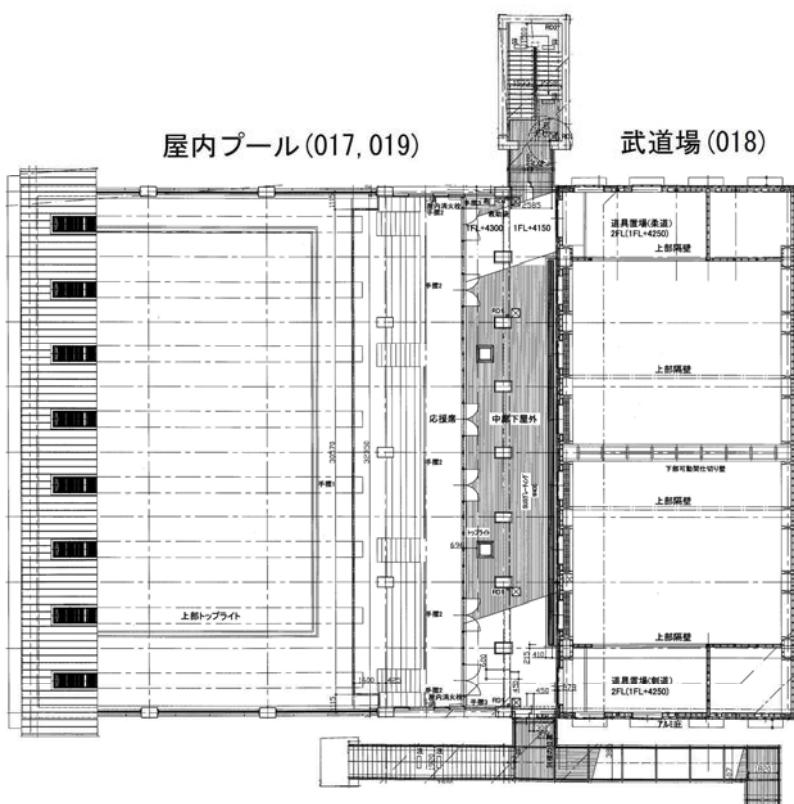
※老朽化箇所がないため調査図面のみ掲載

屋内プール(017, 019)



1階平面図

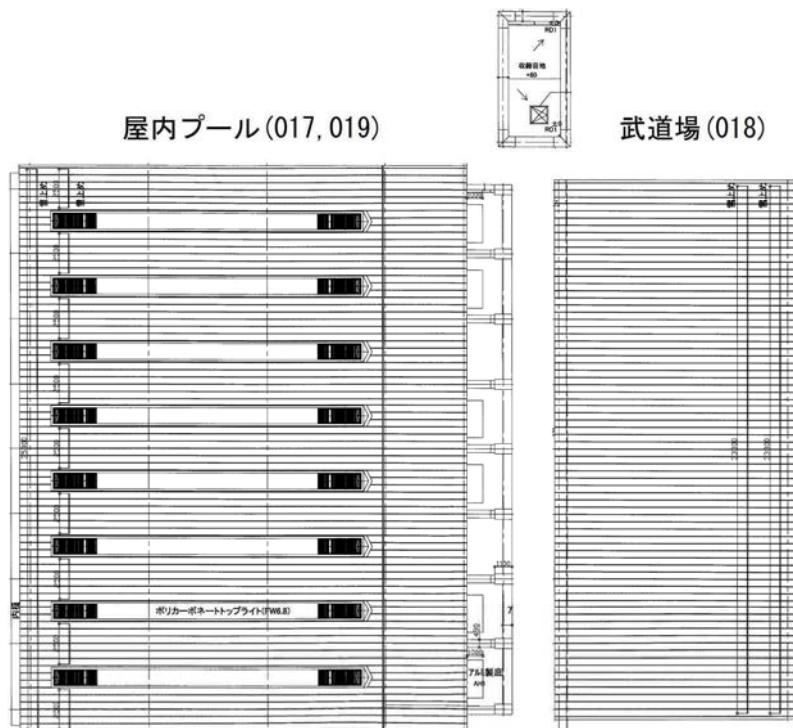
屋内プール(017, 019)



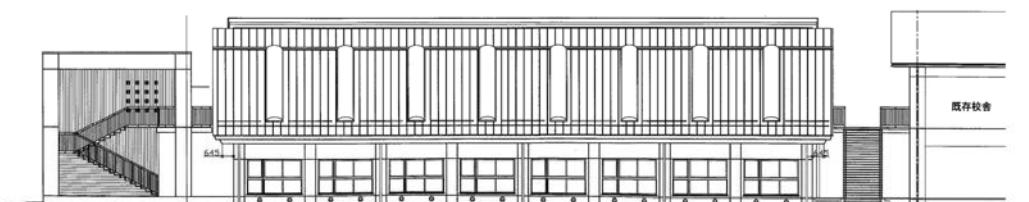
2階平面図

## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

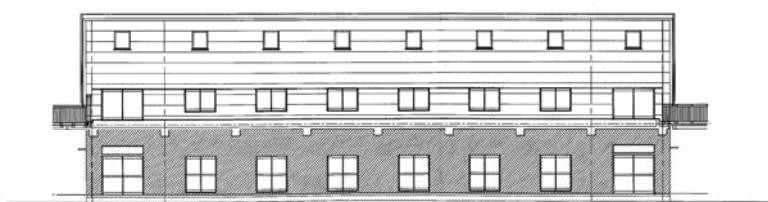
### 屋内プール(017, 019)



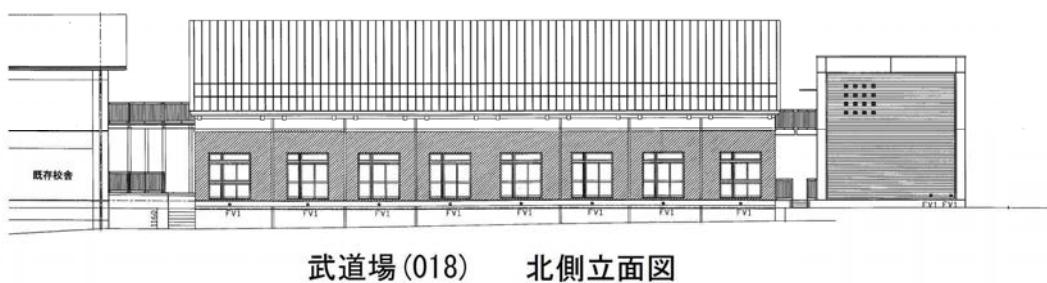
屋根伏図



## 屋内プール(017, 019) 南側立面図



## 武道場(018) 南側立面図



### 3－3．長寿命化の必要性

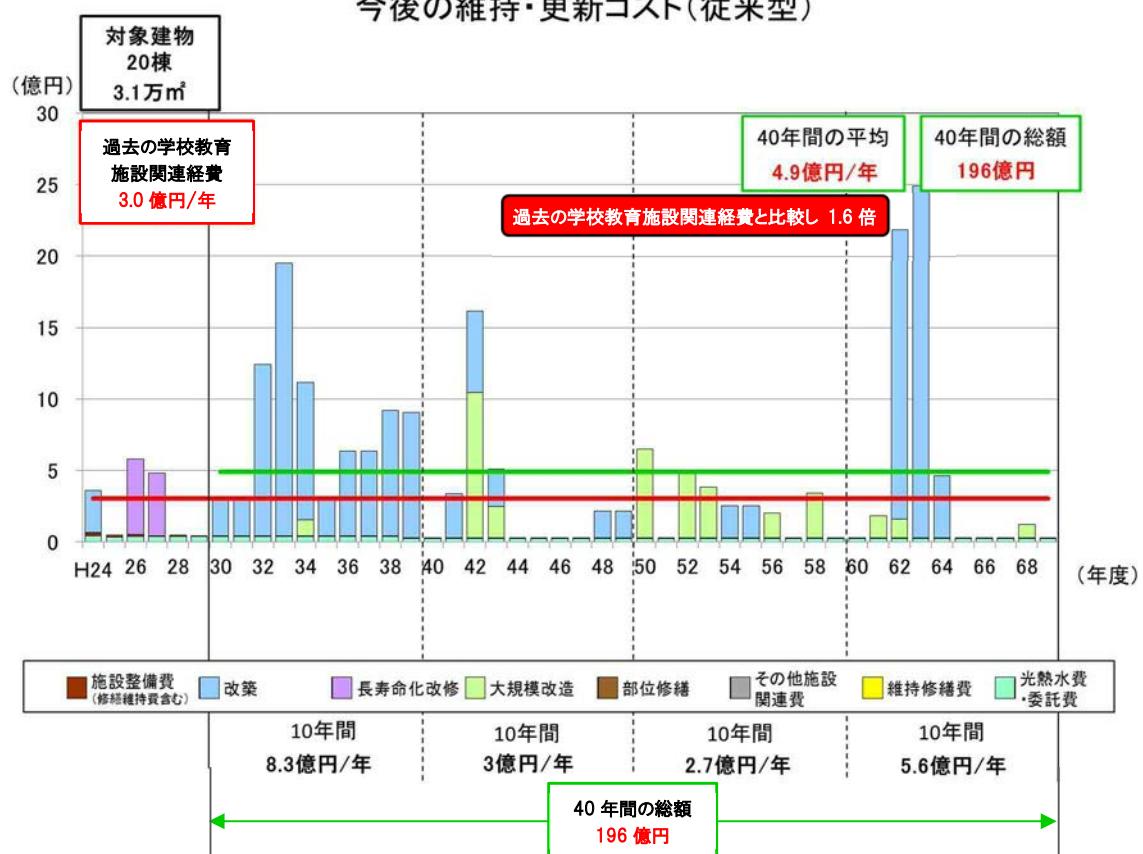
「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月文部科学省）」により試算した今後の維持・更新コストを次頁に示す。

今後の維持・更新コスト（従来型）では、今後40年間で196億円、年平均4.9億円の維持更新コストがかかる試算結果が出ている。また、平成30年度から平成39年度までの10年間及び、平成62年度から平成64年度に改築時期が集中する結果が表れている。この時期の維持更新コストを見ると、平成30年度から10年間で年平均約8.3億円、平成62年度から3年間で約52億円の維持更新コストが掛かる試算となっている。改築時期が集中することから、事業費の確保が難しい状況が想定される。

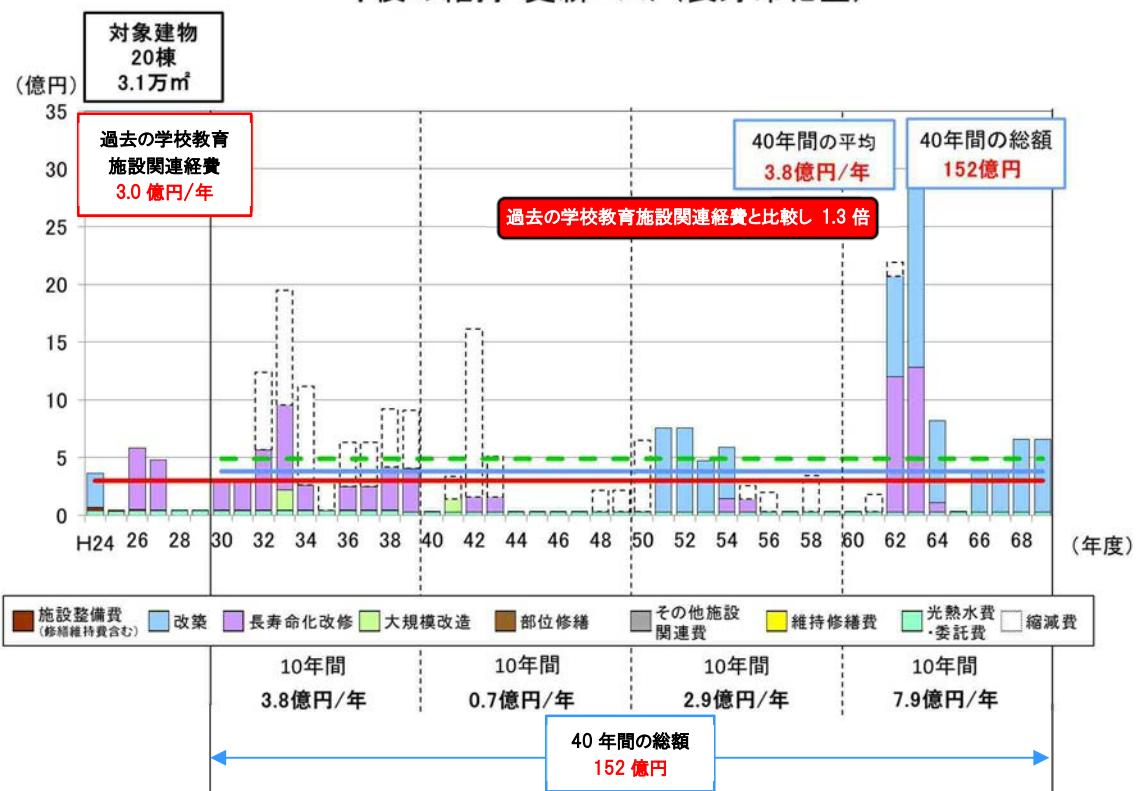
一方、今後の維持・更新コスト（長寿命化型）では、今後40年間で152億円、年平均3.8億円の維持更新コストがかかる試算結果となり、長寿命化型とした場合、今後40年間で44億円の経費削減が見込まれる結果となった。平成60年までの今後30年間では、長寿命化を図ることで改築費用が大幅に削減されている。また、平成60年以降では長寿命化改修及び改築が集中する時期があるため、これらについては一部事業の前倒しを行うなど、実施時期の検討及び調整を図る必要がある。

## 矢吹町学校教育施設長寿命化計画

### 今後の維持・更新コスト(従来型)



### 今後の維持・更新コスト(長寿命化型)



## 4. 学校教育施設整備の基本方針等の検討

上位計画で定めた施設管理に関する基本方針を踏まえ、学校教育施設整備の基本方針等を検討する。

### 4-1. 上位計画における基本方針

「矢吹町公共施設等総合管理計画」より抜粋

#### 1) 公共施設等の管理に関する基本方針

##### 全体方針

『公共施設等の量・質の見直しを図り、ライフサイクルコスト・施設総量の縮減に取り組む戦略的な施設経営を推進し、町民ニーズに対応した施設サービスの持続的な提供を行う。』

##### 全体方針の5つの柱

###### ①施設の長寿命化

予防保全 計画修繕 定期的点検診断

※新規施設は原則としてつくれない

###### ②施設の複合化と機能集約

サービスの適正化 施設の複合化・多機能化 広域対応 統廃合

※施設を更新(建替え)する場合は、複合化・多機能化を検討する

###### ③効率的な運営手法

維持管理の効率化 利用促進 使用料の適正化

※施設総量(総床面積)を縮減する

###### ④新たな事業手法の活用

公民連携の推進 (PPP・PFI) 等

※改修・更新コスト、管理運営コストを縮減する

###### ⑤取組体制の構築

施設の一元管理 取組の推進体制の構築 個別計画の策定 職員の意識改革

※ライフサイクルコストを縮減する

## 2) 施設類型別の基本方針【学校教育施設】

施設分類ごとの基本方針
学校教育施設（5施設）
<p>○小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■多額の更新費用が予想されるため、更新時期の分散化を図る。しかし、全ての学校施設の更新を行うことは、財政的にも困難であることから、保護者や地域等の意向を十分に踏まえながら、適正規模・適正配置について検討する。</li><li>■少子高齢化が加速する中にあっては、児童数・生徒数の減少に合わせた統合の可能性を検討していく。</li><li>■給食施設の統合の可能性を検討するほか、民間資金の活用等、民間委託の拡大を推進する。</li></ul>

#### 4－2. 学校教育施設長寿命化計画の基本方針

##### 学校教育施設長寿命化計画の基本方針

- ① 長期的かつ計画的な改修によるコストの縮減・財政負担の平準化
- ② 少子高齢化など地域の実情に合わせた学校教育施設の複合化と機能集約
- ③ 公民連携の推進による維持管理、運営コストの削減、より質の高い安全・安心性の確保
- ④ 施設管理データの一元化など効率的・効果的な維持管理体制の構築
- ⑤ 新学習指導要領に対応した学校教育施設の改修・整備

## 5. 基本方針等を踏まえた施設整備の水準等

### 5-1. 目標耐用年数

目標耐用年数は「建築工事標準仕様書・解説（2009年2月改正）」、「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）を参考に、上位計画に基づき設定する。

「建築工事標準仕様書・解説（2009年2月改正）」では鉄筋コンクリートの耐用年数は、標準で65年としている。

「建築物の耐久計画に関する考え方」が推奨している学校施設の鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造の目標耐用年数を高品質の場合80～120年、普通品質の場合だと50～80年としている。

「建築工事標準仕様書・解説（2009年2月改正）」が標準で65年としていること、「建築物の耐久計画に関する考え方」が目標耐用年数を普通品質の場合50～80年としており中間値が65年となっていることを踏まえ、上位計画「矢吹町公共施設等総合管理計画」における建替え時期60年の基準に基づき、本計画の目標耐用年数は60年と設定する。

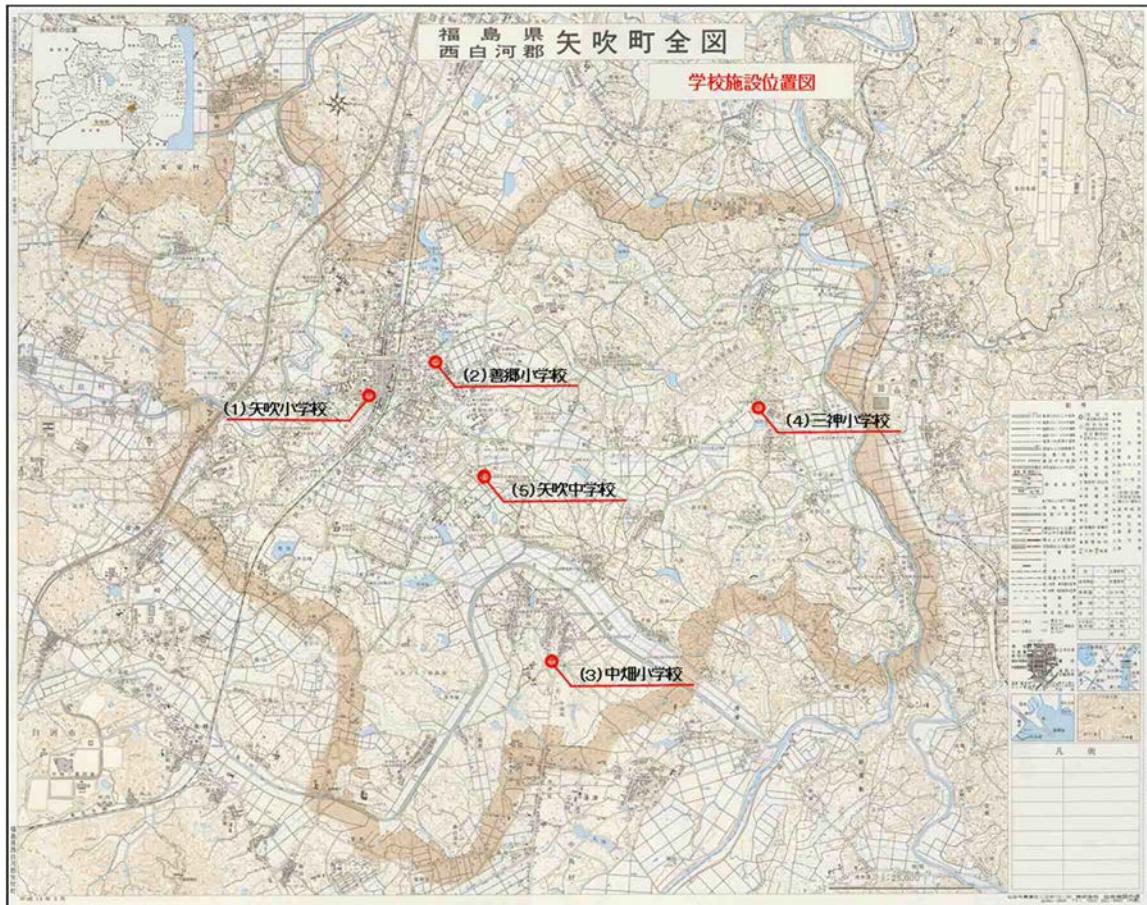
## 5－2. 学校の適正配置

現況調査の結果、少子化と人口減少の加速から、児童数が年々減少傾向にある中、少人数学級や特別支援学級を編成しているため、現在では余裕教室の増加はないが、今後の更なる児童数の減少により、単学級の学年が徐々に増加し、余裕教室が増加していくと予想される。

学校施設の規模や適正配置については、地域の実情に応じて、余裕教室など空きスペースの有効活用、または不要となった一部施設の減築、他の公共施設との複合化・共用化、学校施設の統廃合など様々な方向性が考えられる。

教育委員会では、このような状況を受け、町内の4小学校について、老朽化に伴う改修工事の実施時期に合わせた小学校の統廃合の時期を探るため、別途調査検討を行っている。

本計画では、今後この検討結果を踏まえながら、計画の見直しを図っていく。

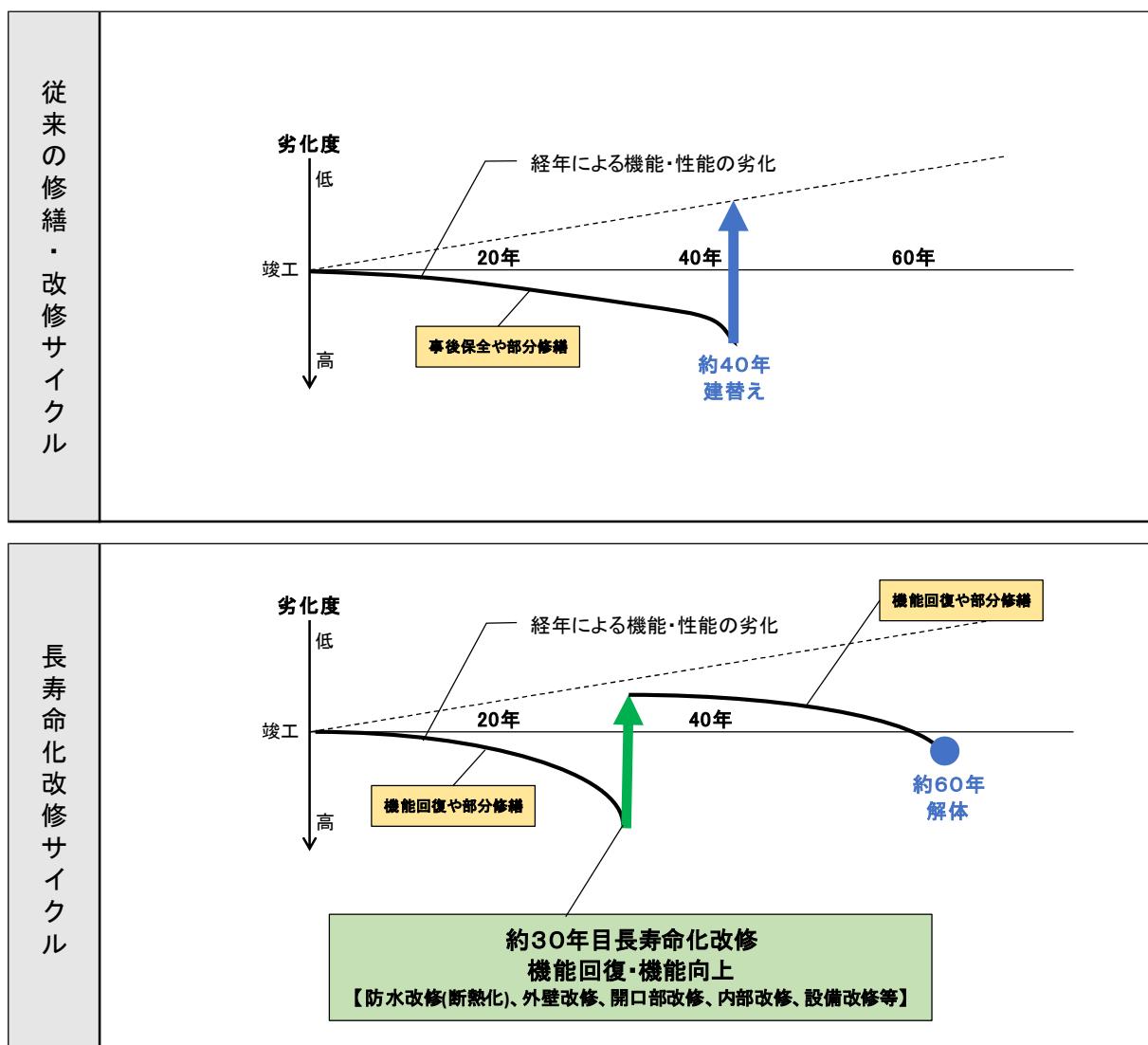


### 5 – 3．修繕・改修周期の設定

文部科学省の学校施設における従来の修繕・改修サイクルでは、経年による機能・性能の劣化の原状回復を目的とした機能回復中心の事後保全を適宜行い、建築後約40年で建替えを行う計画であった。

矢吹町においては、平成28年3月に策定された「矢吹町公共施設等総合管理計画」において、公共施設の修繕改修時期については、30年後に大規模改修、60年後に建替えという基準が示されている。今後は、建替え時期の延長を図り既存施設の維持・改修による長寿命化改修に切り替える。

長寿命化改修計画のイメージとしては、経年による機能・性能の劣化の原状回復だけではなく、機能・性能の向上も目的とした長寿命化改修工事を、建築後約30年を経過した際に実施することで、既存施設の長寿命化を図り、目標耐用年数まで使用することを目指す。



#### 5－4．修繕・改修レベルの設定

長寿命化において配慮すべき性能として、第一に子供たちが安心安全に学べる教育環境とし、昨今の少子高齢化や、小学校の地域としての役割（避難所、地域コミュニティーの場等）を踏まえ、各部位の仕様を決定する際の配慮すべき事項、整備メニューを整理する。

また、町内における教育の機会均等とその水準の維持向上を図るため、平成26年度から平成28年度に大規模改修工事を実施した矢吹小学校を長寿命化改修モデルとして、今後の改修メニュー（修繕・改修レベル）(P.75)を設定する。

実際に仕様を決定する際には、長寿命化改修モデルを基準とし、次の配慮事項を充分に考慮して、各小学校の実情に合わせた整備メニューを選択する。

##### ■長寿命化における修繕・改修レベル設定の配慮事項

- ・各小学校の教育方針や立地、建築等の特色を活かした改修計画とする。
- ・改修を行う際は避難所としての機能強化を前提とすることで安全性能を向上させる。
- ・改修を行う際は各小学校の実情に合わせたバリアフリー化を行う。
- ・改修を行う際は耐久性の高い仕様、納まりとすることで長期間に渡り使用し、ライフサイクルコスト及びCO<sub>2</sub>排出量を削減する。
- ・設備機器の改修を行う際は、LED等の高効率照明や節水型衛生器具など、省エネ性能の高い仕様とすることで光熱水費等のライフサイクルコストを縮減する。

## ■長寿命化改修モデル 改修メニュー

部位		改修メニュー(改修レベル)	(修繕レベル)
外部仕上げ	屋根・屋上	・全面防水改修 (断熱検討)	浮き部補修 クラック補修程度
	外壁	・断熱改修(断熱材新設) ・防水型塗膜塗装 ・躯体補修、補強	浮き部補修 クラック補修程度
	外部開口部	・サッシ交換(Low-eペア、ペアガラス)	シーリング打替え 開閉調整程度
	その他外部	・外部劣化部の補修、美装化 ・手すり等の更新	現状程度に修復補修
内部仕上げ	内部仕上げ (教室等)	・内装の全面更新 (木質化、美装化)	現状程度に修復補修
	トイレ	・全面更新、ドライ化 ・洋式化	現状程度に修復補修

		改修メニュー(機能向上)
学習環境		・教室配置、面積等の機能改善 ・新学習対応 ICT ・多様な学習の場
生活環境		・トイレドライ化 ・木質化 ・配線配管全面交換
省エネ化		・LED照明、節水型便器、省エネ機器の採用 ・太陽光発電システム ・高断熱、高気密
バリアフリー		・スロープ、手すり、車いす対応駐車場 ・多目的トイレ設置
防災・防犯		・自家発電 ・防犯監視 ・マンホールトイレ検討

### 5－5. 維持管理レベルの設定

長寿命化改修を計画的に実施することで、修繕費の不足による修繕必要箇所の工事未実施を無くすとともに、その他予期せず緊急に修繕を必要とする部位が発生した場合には、状況に応じて対応することで常に学校施設を安全で良好な状態で使用できるようにする。

## 6. 長寿命化の実施計画

### 6-1. 改修優先度の設定

現況調査及び施設整備基本方針を基に、改修の優先順位を設定する。

構造躯体の老朽化状況から、緊急で必要な耐震補強は無いと判断出来るが、予定されている耐力度調査時期に合わせて調査を行い、その後の改修・建替えを検討することとする。

構造躯体以外の改修の優先順位は、現地調査のランク付けを基に設定する。現地調査ではDランク（安全上など問題があり緊急性の高いもの）が最も優先順位の高いものとし、Aランク（概ね良好）が最も優先順位の低いものとしている。

また、改修要望については現地調査のランク付けと照合し検討していく。その他現地調査項目と該当する項目については環境性、機能性を考慮し、必要に応じて優先順位を引き上げるものとする。その他予期せず緊急に修繕を必要とする部位が発生した場合には、状況に応じて対応する。

また、改修においては学校単位での検討が必要であることから、優先順位についても学校単位で設定することとする。

#### ■改修優先順位

学校名	建物名	健全度	学校別 健全度(平均)	優先順位	備考(※)
3 中畠小学校	校舎(北校舎)	18	55	高	2031(H43)
	給食室	74			2034(H46)
	校舎(南校舎)	49			2044(H56)
	屋内運動場	77			2050(H62)
2 善郷小学校	校舎(西校舎)	62	67		2040(H52)
	屋内運動場	49			2040(H52)
	給食室	94			2040(H52)
	校舎(東校舎)	62			2041(H53)
4 三神小学校	校舎(南校舎)	72	76		2046(H58)
	校舎(北校舎)	62			2046(H58)
	屋内運動場	93			2062(H74)
1 矢吹小学校	校舎(西校舎)	100	88		2044(H56)
	給食室	50			2033(H45)
	校舎(東校舎)	100			2046(H58)
	屋内運動場	100			2046(H58)
5 矢吹中学校	給食室、食堂	77	95	低	2056(H68)
	屋内運動場	100			2070(H82)
	校舎	100			2070(H82)
	屋内プール	100			2071(H83)
	武道場	100			2071(H83)

※「矢吹町公共施設等総合管理計画」で示されている建替年度。

## 6－2. 長寿命化計画の今後の課題

### 1) 耐力度調査について

予定されている耐力度調査の時期については、今後の老朽化状況等により予定調査時期が前後する可能性がある。予定調査時期を前倒し、先送りする場合には、改めて今後の小学校の在り方、方針、改修計画を見直す必要がある。また、耐力度調査の結果によっては適正配置計画を踏まえた長寿命化計画の見直しが必要になる。

### 2) 財源の確保について

長寿命化計画を実施するためには財源の確保が重要だが、事業費が高額なため財政負担が大きい。町が創設した「公共施設等整備基金」のほか、今後は国の補助金等を適切かつ効果的に活用することで、財政負担を軽減していくことが必要である。

### 3) 改修時期について

教育委員会では、町内の4小学校について、老朽化に伴う改修工事の実施時期に合わせた小学校の統廃合の時期を探るため、別途調査検討を行っている。

各施設の現況調査から改修の優先順位を設定したところではあるが、小学校については、統廃合の検討が別途進んでいることから、その検討結果を踏まえながら、長寿命化計画の見直しを行い、実際の改修時期を調整する必要がある。

## 6－3. 情報の管理

長寿命化計画のP D C Aサイクルを実行するためには、継続的な実態把握によるデータの蓄積・評価・検討を行う必要がある。そのため、学校施設台帳や本計画の現地調査記録等のデータを一元管理し、学校施設をマネジメントするために必要なマニュアル・手法によるマネジメントを実行する必要がある。

## **矢吹町学校教育施設長寿命化計画**

**平成30年3月**

**企画 :** 〒969-0236 福島県西白河郡矢吹町一本木101番地  
矢吹町教育委員会 教育振興課 TEL:0248-44-4400(直通)

**編集 :** 〒960-8043 福島県福島市中町7番17号  
一般財団法人 ふくしま市町村支援機構 業務部建築課 TEL:024-522-5124(直通)

**禁無断転載**